調布は
まるごと
映画のまち

映画のまち調布
ガイドブック

Chofu , the city of movies- Guidebook

これで納得！ここが映画のまち調布だ

映画・映像産業で活躍する企業が数多く存在

「つくる・楽しむ・学ぶ」映画のまちがここにある



映画のまち調布 ガイドブック

Chofu , the city of movies- Guidebook



これで納得！
ここが映画のまち調布だ

映画・映像産業で活躍する企業が
数多く存在
「つくる・楽しむ・学ぶ」
映画のまちがここにある

» アイコンの見方

所在地　電話番号　営業時間・開館時間、休み
映画・映像関連スポット　ロケ弁　映画スターが訪れたお店

本誌に掲載したデータは、2016年2月～3月の取材・調査によるものです。本誌出版後に、各種データが変更になる場合がありますので、ご利用の際に改めてご確認ください。また、本誌で掲載された内容により生じたトラブルや損害等については、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承のうえご利用ください。

調布は
まるごと
映画のまち

CONTENTS

▸▸ 04 映画のまち調布のあゆみ
▸ 過去～未来

▸▸ 08 映画イベント
▸ つくる・楽しむ・学ぶ

▸▸ 12 映画×コラボ
▸ 調布ならではの映画コラボ

▸▸ 13 特別企画 調布市制施行60周年記念
▸ 新たな「映画のまち調布」時代の幕開け

▸▸ 15 調布×ゲゲゲ
▸ 調布に根付くゲゲゲ

▸▸ 17 調布市内映画・映像関連企業一覧

▸▸ 34 映画×観光
▸ 訪れたい映画の名所

▸▸ 35 映画人
▸ 映画倫理委員会 審査員
平山　達郎さん

▸▸ 37 映画人
▸ 旧日活・大映村の会 事務局長
宮嶋　眞雄さん

▸▸ 39 調布フィルムコミッション
▸ 撮影をするなら「映画のまち調布」

▸▸ 41 絶対食べたい！調布のロケ弁
市民エキストラ登録者募集



映画のまち調布ホームページ　http://www.csa.gr.jp/film/

映画のまち調布ガイドブック　［発行・編集］調布市産業振興課　TEL.042-481-7180　［協力］調布市観光協会　［制作］株式会社ウィード　TEL.042-443-6681

映画のまち調布のあゆみ
過去～未来

昭和7年～
「東洋のハリウッド」幕開け
映画のまち調布

昭 和 7 年

『水澄み、時代劇、現代劇に最適なり』

京都の東活映画社から東京に撮影所を新設するため
「調布を視察」した本多嘉一郎

〈 視察の結果、調布には… 〉



1. フィルム現像に欠かせない、きれいな水と澄んだ空気のある土地
2. 時代劇のロケに適した土手のある風景
3. 現代劇ロケにも便利な立地

本多 嘉一郎（のちの調布市長）

昭 和 8 年 ～

本多嘉一郎が送った一本の電報により、
調布に「日本映画株式会社 多摩川撮影所」
（現在の角川大映スタジオ）が設立。

映画のまち調布の礎を築いた男・本多嘉一郎

京都の東活映画社で撮影技師だった本多嘉一郎。昭和7年、東京に撮影所を新設するために調布市へ視察に来た。井戸の水質検査をしたところ、調布の水のきれいさは優れており、調布市への撮影所建設に白羽の矢を立てた。のちに昭和37年から53年まで調布市長を務め、「カツドウ屋市長」と呼ばれた。



昭和28年～

「東洋のハリウッド」幕開け

映画のまち調布

昭 和 2 8 年 ～

大映、日活に加えて独立プロダクション系の
中央映画撮影所の３ヶ所で映画が制作され、
それに伴い多くの映画・映像関連企業が調布に集積。

「東洋のハリウッド」と呼ばれていた調布

昭和8年～ 日本映画株式会社 多摩川撮影所 → 日活多摩川撮影所 → 大映映画撮影所 → 角川大映スタジオ（現在）

昭和29年～ 日活撮影所→日活調布撮影所（現在）

昭和30年～ 中央映画撮影所 （昭和35年撤退）

〈 撮影所のほか映画・映像関連企業も集積 〉

昭和9年に、京都の高津商店が東京出張所を調布に開設（現 高津装飾美術）、
昭和26年以降に、東京現像所、日本色彩映画（現 東映ラボ・テック）の二つの現像所が設立された。

昭和33年は、映画業界全盛期、
年間観客動員数が11億3000万人を記録した。
（当時の日本の人口 約9,200万人）



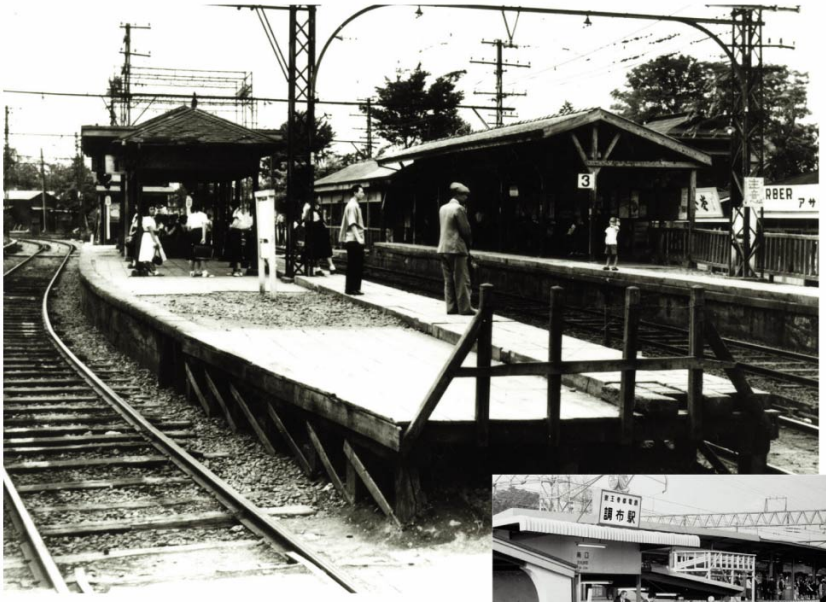






©日活

憧れの銀幕スターたちが街頭を闊歩





写真提供:調布市郷土博物館

昭和28年頃の調布駅

日活のスターは調布駅や布田駅から撮影所に通っていたそうです。



割烹・うなぎ 竹乃家（現在）



和食の店 花



居酒屋 五万石

映画スターが訪れた「お店」

【 京王多摩川駅 】

割烹・うなぎ 竹乃家
多摩川5-31-1　042-482-2411

和食の店 花
多摩川5-7-3 2F　042-486-7910

現在の京王多摩川駅周辺が「映画村」と呼ばれていた時代、京王多摩川駅周辺は料理屋が軒を連ね、大変にぎわっていました。映画関係者の商談・接待などに使われていて、石原裕次郎さんをはじめ、多くの映画スターの方々も、よく訪れていたそうです。

【 布田駅～多摩川間 】

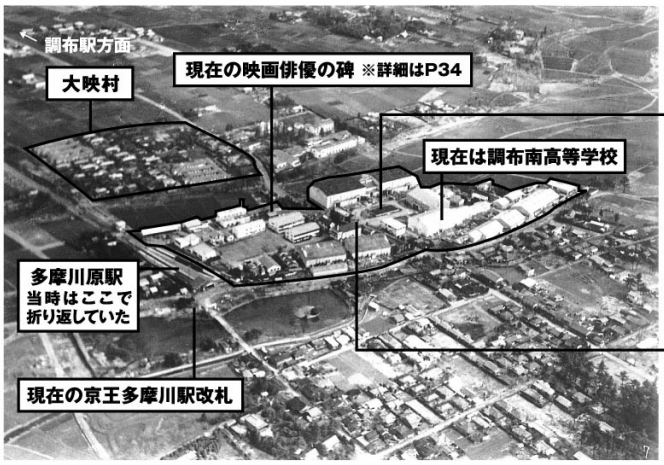
居酒屋 五万石（現在はありません）
椿地蔵を過ぎた辺り 国領町6

撮影所から布田駅に向かう道中にあったお店。市制60周年記念に開催された小林旭さんのコンサートでも、撮影帰りによく通ったお店として紹介されました。

昭和30年代の撮影所

真夜中まで照明が煌々と照らされ、不夜城と呼ばれた撮影所

大日本映画製作株式会社 東京撮影所
（現 角川大映スタジオ）



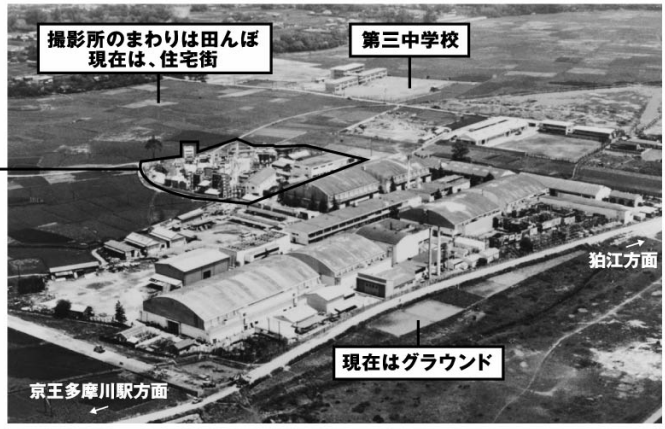




当時の大映入口

日活撮影所（現 日活調布撮影所）





**撮影所の中に
銀座の街並み**

銀座の街並みをオープンセットで再現。「日活銀座」として親しまれました。

日本映画黄金期をいろどったスターたち（日活）



【 ダイヤモンド・ライン 】
石原 裕次郎　赤木 圭一郎　宍戸 錠
小林 旭　　和田 浩治



【 パール・ライン 】
中原 早苗　浅丘 ルリ子　吉永 小百合
笹森 礼子　清水 まゆみ　芦川 いづみ

つくる

多くの映画・映像関連企業が集積している特徴を生かします

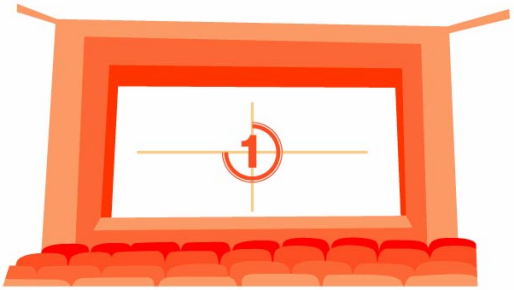
地域資源を活用したフィルムコミッションの推進（ロケ支援と誘致）

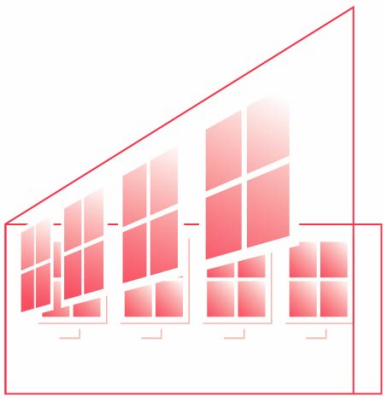


楽しむ

市民・団体等による映画・映像関連イベントを支援します

シネマコンプレックスのオープンも決定!





映画関連展示（郷土博物館）

調布デジコン・映画資料室（図書館）

学ぶ

幅広い世代が映画に親しむ機会を提供します

幅広い世代で楽しめる「映画」のイベントがたくさん

つくる·学ぶ

映画撮影等技術講習会 対象：どなたでも

日活調布撮影所の協力のもと、「撮影」「照明」「録音」の講師をお招きし、映画制作の基本から応用テクニックまで幅広く教わります。

これから映画を撮りたいと考えている方や映画作りに興味がある方など、どなたでも参加することができます。




時期：6月　場所：調布市文化会館たづくり
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

つくる

「つくる」子どもたちと映画寺子屋 対象：小学3～6年生

映画作りの面白さを体験できるワークショップです。プロの映画監督の指導のもと、初めて出会う友達と協力をしながら、脚本、撮影、役者、編集などを自分たちの手で行い、計4日間で一本の映画を制作します。その後、出来上がった作品の手作り上映会も行います。

初めての映画づくりで、どんな作品が出来たかドキドキワクワクの子どもたち。きっと忘れられない思い出になるでしょう。




時期：7月下旬～8月、3月　場所：調布市文化会館たづくり、調布市内
主催：子どもたちと映画寺子屋　TEL：090-7933-1263

つくる

調布ジュニア映画塾 対象：中学生

映画作りの面白さを体験できるワークショップです。プロの映画監督や脚本家の指導のもと、撮影、監督、俳優、音声、編集などを、それぞれの参加者が担当し、皆で協力して8日間で一本の映画を制作します。

また、普段見ることの出来ない市内の映画・映像関連企業の見学も行い、映画に対する理解を一層深めることができます。




時期：7月下旬～8月　場所：調布市文化会館たづくり、調布市内
主催：NPO法人 調布まちづくりの会　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

映画のまち調布“夏”花火 対象：どなたでも









多摩川の雄大な景色を眺めながら、花火を堪能できます。調布が元祖である、音楽と花火のコラボレーション「ハナビリュージョン」は必見。コンピューター制御により、音楽と花火が完全シンクロします。選曲も映画音楽やみなさんに馴染みのあるものからチョイス。最高のエンターテイメントショーに会場は感動の渦に巻き込まれます。ラストは夜空を埋め尽くす銀冠でしっとりと締めくくり、心にはいつまでも思い出の花火が咲き続けるでしょう。

会場では、映画×花火のオリジナルコラボグッズを販売。花火をゆったり楽しむことができる「映画のまち調布シート席」もあります。

時期：8月　場所：多摩川河川敷　主催：調布市花火実行委員会　TEL：042-481-7183（調布市産業振興課内）

つくる・楽しむ・学ぶ

商店会CMの制作・コンテスト 対象：大学生、どなたでも



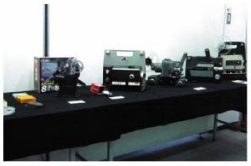


市内の商店会と映像制作を実習している城西国際大学メディア学部の学生が一緒に、商店会をPRするCMを制作。完成試写会&優秀作品コンテストも実施。毎年、商店会の持ち味を引き出した、個性あふれる作品ができあがります。

時期：毎年秋頃　場所：調布市文化会館たづくり「くすのきホール」
主催：調布市、城西国際大学、調布市内商店会　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ・学ぶ

ホームムービーの日 調布 対象：どなたでも





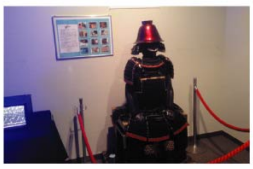
地域や家庭に眠る、小型映画（8ミリフィルムなど）を発掘し、映像（フィルム）保存の重要性と地域映像アーカイブの必要性を広く知ってもらうことを目的としたイベントです。また、上映イベントやワークショップを通して、地域コミュニティの交流を推進することも大きな目標のひとつです。

時期：10月　場所：市内　主催：調布市　TEL：042-481-7656（調布市郷土博物館）

楽しむ・学ぶ

JVAフェスタ 対象：どなたでも





映像美術の体験展示会。華やかな映画・テレビ・CM・映像の世界を彩る大道具・小道具、特殊メイクなどの美術関連作品の展示のほか、甲冑などの小道具・かつら・特殊メイク・衣装の着付け体験を楽しむことができます。

映画・テレビなど映像の世界の裏側をのぞいてみませんか。

時期：11月（隔年）　場所：調布市文化会館たづくり
主催：日本映像美術協議会（JVA）　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

つくる・楽しむ・学ぶ

高校生フィルムコンテスト in 調布 対象：高校生 鑑賞：どなたでも

高校生が自主制作した映画作品を募集し、第一次審査を通過した作品を上映して、映画業界で活躍するプロの審査により最優秀賞等を決定するコンテスト。将来映画業界で活躍する人材が育成・輩出されることも期待されています。笑いあり、涙ありの青春いっぱいの高校生力作の映画をぜひ鑑賞してみませんか。





時期：11月　場所：調布市文化会館たづくり「くすのきホール」
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ・学ぶ

ちょうふ親子映画上映会 対象：親子

小さなお子さまの映画スクリーンデビュー！「たくさん笑って、泣いてもお互い様」を合言葉に、周りを気にせず、皆で楽しめる映画を上映します。上映の合間には様々なワークショップも開催。映画を観る楽しさ、作る楽しさを感じてもらえる、親子で一緒に楽しめるイベントです。




時期:12月～2月　場所:調布市文化会館たづくり「くすのきホール」ほか　主催:調布市観光協会
TEL：042-481-7180（調布市産業振興課内）

楽しむ

調布映画祭 対象：どなたでも

調布市内の会社が制作に携わった作品や調布にゆかりのある作品などの上映、小道具や資料の展示、映画関連会社の紹介や情報発信などを行う「映画のまち調布」の祭典です。市民で構成する実行委員会が中心となり、上映作品の選定や企画、準備を行っています。

調布映画祭



時期：3月　場所：調布市文化会館たづくり、調布市グリーンホール
主催：（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団、調布市　TEL：042-441-6171（財団）

つくる・楽しむ・学ぶ

CHOFU SHORT FILM COMPETITION 対象：どなたでも

発表の機会の少ない自主制作ベースの短編映像作品を募集・審査し、入賞・入選作品の上映会を実施しています。映像制作者の作品発表の場を提供するとともに、「映画のまち調布」から全国に向けて新しい才能を発信します。また、映像分野の新たなファン獲得のため、普段は観る機会が少ない自主制作映画や短編映画の芸術・文化的な魅力を発信するイベントを実施しています。




時期：作品募集 8月～9月／上映会 3月頃　場所：調布市せんがわ劇場
主催：（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団　TEL：042-441-6171

楽しむ

特撮展 対象：どなたでも

市内映画・映像関連企業の協力により、特撮に焦点を当てたイベント。大怪獣ガメラや妖怪、ミニサイズのジオラマセットなどの展示のほか、特撮に関連したワークショップや、著名な方々を招いてのトークショーなど関連イベントも多数実施。




時期：未定（年1回）　場所：調布市文化会館たづくり
主催：調布市観光協会　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課内）

楽しむ

母と子の映画寺子屋上映会 対象：未就学児、お母さん、お父さん

育児などで忙しく、なかなか外に出られないお母さんを対象とした映画上映会です。同じような環境のお母さん同士が集まり、上映後は市内の美味しいお菓子や軽食をとりながら、育児の悩みなど共通の話題で盛り上がります。会場である大会議場の床はじゅうたんのため、小さなお子様が走り回っても安心です。映画を楽しみながら、新たなお友達に出会える場です。





時期：通年（隔月）　場所：調布市文化会館たづくり「大会議場」
主催：子どもたちと映画寺子屋　TEL:：090-7933-1263

楽しむ

調布まちシネマ 対象：どなたでも

映画で調布をもっと楽しく、もっと良いまちにしていこう。市民による、手づくりの「映画のまち」計画。それが、「調布まちシネマ」です。

独自の視点で選んだ映画の上映や関連イベントを実施しています。上映場所は、市内のカフェやバーなどで、映画館とはまた違った雰囲気で作品を楽しむことができます。





時期：不定期　場所：市内のカフェやバーなど
主催：調布まちシネマプロジェクト（調布コミュニティビジネス推進委員会「調布アットホーム」ワーキンググループ）
TEL：042-444-5166

楽しむ

調布シネサロン 対象：どなたでも

テーマごとにさまざまな作品を無料で上映しています。夏休みには、アニメなどの親子向け映画の上映も行います。（一部有料）



時期：4月～11月（年8回程度）　場所：調布市グリーンホール
主催：（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団　TEL：042-481-7611（調布市グリーンホール）

学ぶ

ちょうふ市内・近隣大学等公開講座／ちょうふ市民カレッジ 対象：どなたでも

映画・映像分野を学べる城西国際大学と日本映画大学の公開講座を無料で開講しています。映画監督やプロデューサー出身の講師陣が、現場の視点に立った講義を行います。また、市民カレッジでは、「映画のまち」の歴史や映画制作のほか、映画・映像文化に関する多様な芸術・文化学習講座を開講しています。





時期：公開講座（6月～12月）／　市民カレッジ前期（4～9月）・後期（10月～3月）
場所：調布市文化会館たづくり
主催：（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団　TEL：042-441-6150

映画×コラボ

調布ならではの映画コラボ

映画のまち調布

映　画×FC東京

市内全域ではためくバナーフラッグ







掲出イメージ（天神通り）

映　画×商店街



調布銀座商店街のカチンコ看板

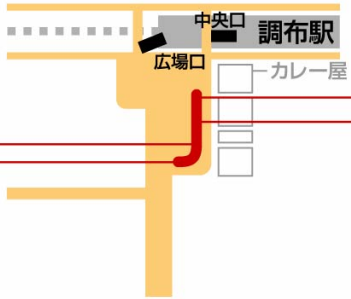
この地に、
昭和30年代、
映画館「調布銀映」
があった



映　画×マンホール



調布駅をおりたつと発見









映　画×花　火

手ぬぐい



多摩川の地に撮影所が造られたのは、昭和8年
多摩川で花火の打上げが始まったのも、昭和8年

歴史を越えてのコラボレーション





シート

調布市花火実行委員会　TEL：042-481-7183（調布市産業振興課内）

調布市制施行60周年記念

2015年は調布の映画元年！
新たな「映画のまち調布」時代の幕開け

楽しむ

角川大映スタジオ展 対象：どなたでも

角川大映スタジオの歴史背景や、大映の黎明期から、現在のKADOKAWAまでの足跡を、パネルや時代別の圧巻のポスター展示、数々の映画美術品、映像資料、立体物の展示により紹介しました。日本映画の草創期を彩った「大映映画」、70～80年代に一大旋風を巻き起こした「角川映画」の名作・佳作の上映も行いました。また、アニメと芸術一派・琳派が融合した、関東初上陸となる「琳派オマージュ展」を同時開催しました。





©KADOKAWA

開催日：平成27年12月19日（土）・20日（日）　場所：調布市文化会館たづくり
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

石原裕次郎展 対象：どなたでも

市内に長年事務所を構える石原プロモーションの特別協力のもと、一般公開されていない石原裕次郎ゆかりの品や生涯をたどる貴重な写真、まき子夫人着用の婚礼衣装等の展示を通して、昭和の大スターの生きざまを体感してもらいました。屋外スペースではドラマ「西部警察」や「ゴリラ・警視庁捜査第8班」で使用された特殊車両の展示を行いました。また、石原裕次郎主演の「太平洋ひとりぼっち」の上映は、当時を懐かしむファンで満員となりました。





©石原プロモーション

開催日：平成28年1月9日（土）～12日（月）　場所：調布市文化会館たづくり
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

日活調布撮影所“創る力”展 対象：どなたでも

石原裕次郎さん、小林旭さん、吉永小百合さんたち大スターを生み出した黄金時代から経営の危機に瀕した苦難の時代まで、日活の歴史を余すことなく展示しました。
日活スターに時代劇殺陣の指導を行っていた高瀬道場の演武、日活黄金期を代表する俳優の浜田光夫さんのトークショー、日活映画の懐かしの作品から、現代の話題作まで上映しました。





©日活

開催日：平成28年2月11日（木）～14日（日）　場所：調布市文化会館たづくり
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

小林旭“熱き心”のコンサート 対象：どなたでも

日活出身の大スターである小林旭さんのコンサート。映画撮影で忙しい日々を過ごした当時の思い出話や懐かしい調布の話を交えながら、迫力ある歌を熱唱しました。ゲストには、当時の日活で共に黄金期を飾った宍戸錠さん、浅丘ルリ子さんを迎え、昔話に花を咲かせました。浅丘ルリ子さんとはデュエット曲も披露し、青春時代を懐かしむファンで盛り上がりました。





開催日：平成28年2月12日（金）　場所：調布市グリーンホール
主催：調布市、夢グループ　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

調布映画祭2016　白組　山崎貴監督展 対象：どなたでも

『寄生獣』『永遠の0』など数多くのヒット作を生み出してきた「白組調布スタジオ」の中心人物である山崎監督。作品に登場したミニチュアセットや小道具の展示などを通して、映画制作の未来を担うVFXの制作現場を紹介しました。あわせて、幼少期からモノづくりに魅せられていた山崎監督の驚きのエピソードなども紹介しました。





開催日：平成28年3月9日（水）～21日（月・祝）　場所：調布市文化会館たづくり「展示室」
主催：（公財）調布市文化・コミュニティ振興財団　TEL：042-441-6171

楽しむ

甲冑展示&着用体験 対象：どなたでも

テレビや映画の撮影に使用された甲冑や時代劇のセット等を展示しました。

戦国武将の甲冑着付け体験や忍者の殺陣パフォーマンスを行い、子どもから大人まで大いに賑わいました。協力は、日本の時代劇撮影等に衣装や小道具を提供する市内企業「高津装飾美術株式会社」。まさに調布でしかできない体験イベント!





開催日：平成28年3月12日（土）・13日（日）　場所：調布駅前広場、調布市文化会館たづくり
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

楽しむ

髙寺成紀の怪獣ラジオSP 調布で『クウガ』を観て語ろう! 対象：どなたでも

『仮面ライダークウガ』チーフプロデューサーで、調布FM「髙寺成紀の怪獣ラジオ」のメインパーソナリティである髙寺成紀氏による特別上映とトークショー。スペシャルゲストとして『クウガ』の神崎先生役・井上高志さんをお招きし、番組の制作秘話を参加者からの質問に答える形で語っていただきました。





©東映・石森プロ

開催日：平成28年3月12日（土）　場所：調布市文化会館たづくり「映像シアター」
主催：調布市、調布市観光協会　TEL：042-481-7183（調布市産業振興課）

楽しむ

カナダ・ケベック州の映画上映 対象：どなたでも

調布市は、モントリオール国際映画祭が開催される映画のまちカナダ・ケベック州と、映画産業の交流に加えて、文化・芸術などの文化的交流を視野に入れた包括連携についての共同宣言を平成27年度に行いました。

その一環で、調布映画祭2016同時開催事業として、第84回アカデミー賞外国語映画賞ノミネートなどの話題作「ぼくたちのムッシュ・ラザール」を上映しました。





micro_scope inc.© 2011 Tous droits reserves

開催日：平成28年3月13日（日）　場所：調布市文化会館たづくり「映像シアター」
主催：調布市　TEL：042-481-7180（調布市産業振興課）

妖怪の棲むところ
あなたも妖怪に会えるかも



水木しげるサン

調布市の名誉市民である水木しげるサン。
昭和34年に調布に住まわれてから、調布に数々の貢献をしてくださいました。
残念ながら、平成27年11月30日に93歳で現世での生涯をとじました。
今は、あの世で妖怪との生活を楽しんでいるかもしれませんね。

鬼太郎茶屋

茶屋の前では、妖怪たちがお出迎え
種類豊富な鬼太郎グッズは、どれを選ぶか迷っちゃう。
妖怪喫茶では、心躍る妖怪メニュー!
妖怪の聖地のような、2階妖怪ギャラリーも必見です。









深大寺元町5-12-8
042-482-4059
10:00～17:00／飲食のオーダーストップ16:30
月（祝日の場合は翌日）休

天神通り

布多天神社の参道である天神通り
鬼太郎をはじめ、たくさんの妖怪たちが
楽しくお出迎えしてくれます。

布田1





調布市ミニバス

鬼太郎キャラクターが描かれた
ラッピングバス。カラーは全6種類。
鬼太郎バスで調布を巡ってみよう!







マンホール

妖怪も人間もマナーが大事！
楽しみながら、
マナーを守ってね。
電通大通り



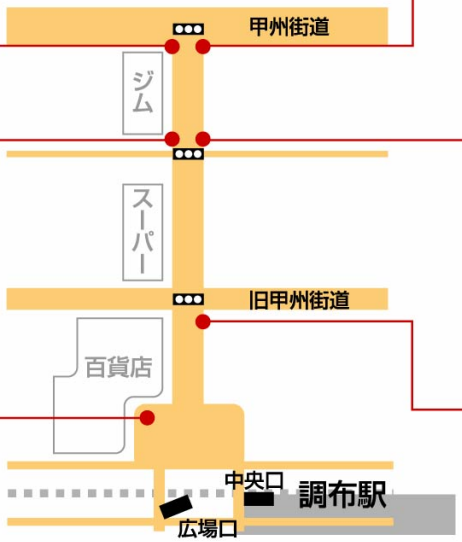












ゲゲゲの鬼太郎妖怪焼き

食べられる妖怪!?
つぶあんこやカスタードクリームなど妖怪によって味が違います。
全6種類!あなたはどの妖怪を選ぶ?





ふぁんふぁーれ
小島町1-22-7
042-490-8637
妖怪焼き10:30～18:00
（土10:30～17:00）
第1土、日休
（土は臨時休業あり）

調布駅北第1自転車駐車場＆妖怪ポスト



鬼太郎、猫娘、一反もめんを発見
味のある妖怪ポストも!



※残念ながら、
妖怪にお手紙は
届きません。

布田1

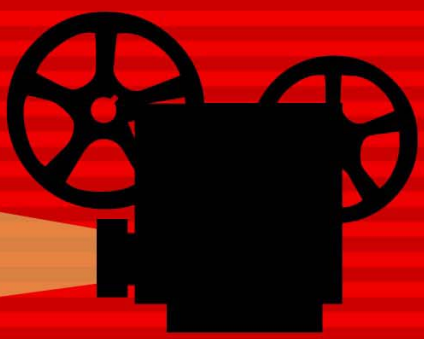


©水木プロ

◂◂ MOVIE COMPANY

調布市内
映画・映像関連企業
一覧

調布市内には、2つの大きな撮影所のほか、多種多様な業種・規模の映画・映像関連企業が40社以上あります。産業として発展してきた「映画のまち調布」の企業を、ここで紹介します。



株式会社 角川大映スタジオ

カドカワダイエイスタジオ

TEL.042-482-1151
FAX.042-482-4297
住所▶多摩川6-1-1
E-mail▶studio-somu@kd-st.co.jp
HP▶http://www.kd-st.co.jp

※撮影所内見学不可

劇場用映画・TV・各種映像製作、撮影・編集・録音等のスタジオレンタル及び各種機材レンタル、美術製作

当社は映像製作の企画立案から撮影、録音、編集まで、経験豊富なスタッフが、お客様のニーズにお応えする作品づくりを行っています。――当撮影所は311坪のステージGをはじめ、数々の名作を生み出してきたスタジオNo1、2や大型2階建スタジオのNo.A、B、C、D、最先端の設備を誇るポストプロダクション棟など、大型作品から製作者の様々なこだわりの作品まで、幅広く受けとめる環境が整っています。また業界内で高い評価をいただく美術製作部門は、これまで積み重ねてきた伝統と技術を駆使し、数多くの映像作品の世界観作りに貢献しています。





○代表者名：小畑 良治　○期末時点の資本金：1億円
○設立年月日：2013年4月1日　○従業員数：140名

【 沿 革 】

- ・1933年　日本映画株式会社の多摩川スタジオとして建設
- ・1934年　日本活動写真株式会社が買収し日活多摩川撮影所を開設
- ・1942年　大日本映画株式会社（大映）が設立され『東京第二撮影所』となる
- ・1945年　大映株式会社の東京撮影所となる
- ・1972年　徳間書店傘下となり『大映映画株式会社』となる
- ・1977年　撮影所が『株式会社大映映画撮影所』として分離される
- ・1983年　『株式会社大映スタジオ』へ社名変更
- ・2002年　現在のKADOKAWAグループへ営業譲渡される
- ・2013年　会社分割により『株式会社角川大映スタジオ』が設立される



主な実績

2016年　エヴェレスト 神々の山嶺
2016年　ピンクとグレー
2009年　漫才ギャング
2009年　旭山動物園物語
2009年　ドロップ
2009年　沈まぬ太陽
2006年　犬神家の一族
2005年　妖怪大戦争
2005年　Shall we ダンス?
1995年　ガメラ大怪獣空中決戦（平成ガメラシリーズ）
1992年　おろしや国酔夢譚
1992年　シコふんじゃった
1988年　敦煌
1975年　金環蝕
1966年　白い巨塔
1965年　大怪獣ガメラ（昭和ガメラシリーズ）
1965年　兵隊やくざ
1961年　黒い十人の女
1955年　陽貴妃
1953年　あにいもうと

日活調布撮影所（日活 株式会社）

ニッカツチョウフサツエイジョ（ニッカツ）

TEL.042-483-1514
FAX.042-483-1519
住所▶染地2-8-12
HP▶http://www.nikkatsu.com

※撮影所内見学不可



映画・映像製作及びスタジオ・機材等のレンタル

日活調布撮影所は1954年開設後、数々の作品を世に送り出し、調布が「東洋のハリウッド」と呼ばれる一翼を担ってまいりました。現在もあらゆる映像の製作に対応できるように、5つの撮影スタジオとポストプロダクション設備等を有し、特にダビングスタジオでは次世代3Dサウンドシステムの「オーロ11.1」を国内で初めて導入する等、企画から仕上げまで高度な技術に裏打ちされた“ノンストップ・ワークフロー”を実現し、お客様のニーズに応えています。



○代表者名：佐藤 直樹　○期末時点の資本金：35億円
○設立年月日：1912年9月10日　○従業員数：226名

【 沿 革 】

1912年　映画会社4社を統合し、『日本活動写真㈱』設立
1913年　東京・向島に撮影所完成、新派（現代劇）専用の撮影所となる
1923年　関東大震災の被害により向島撮影所の現代劇部、京都へ移転
1934年　日本映画㈱のスタジオを買収し京都の現代劇部が移転、多摩川撮影所となる
1942年　戦時企業統合により、多摩川撮影所等の製作部門を大日本映画製作㈱（大映）に譲渡
1945年　『日活㈱』に社名変更
1954年　調布に日活撮影所を開設、12年ぶりに映画製作を再開
1978年　『㈱にっかつ』に社名変更
1990年　撮影所内に衛星通信地球局を開設し、チャンネルNECO、レインボーチャンネル開局
1993年　㈱にっかつ及び子会社6社が会社更生法申請
1996年　『日活㈱』に社名変更、会社更生法手続開始（2001年終結）
2009年　日本テレビ放送網㈱が筆頭株主となる
2012年　創立100周年



主な実績

2016年　日本で一番悪い奴ら
2016年　ヒメアノ～ル
2016年　ヒーローマニア　-生活-
2016年　ライチ☆光クラブ
2016年　俳優　亀岡拓次
2015年　劇場霊
2015年　極道大戦争
2014年　TOKYO TRIBE
2014年　私の男

主要取引先

・情報通信 日本テレビ放送網株式会社（港区東新橋）
・情報通信 スカパーJSAT株式会社（港区赤坂）
・情報通信 株式会社ジュピターテレコム（千代田区丸の内）
・情報通信 株式会社ハピネット（台東区駒形）
・サービス 東京テアトル株式会社（新宿区新宿）

高津装飾美術 株式会社

タカツソウショクビジュツ

TEL.042-484-1161
FAX.042-484-0797
住所▶国領町1-30-3
E-mail▶mail@takatsu-web.co.jp
HP▶http://www.takatsu-web.co.jp

小道具レンタル、美術装飾、装飾施工業

日本映画誕生以来、更に1934年東京進出後、わが国映画産業の装飾分野を担い、時代劇から現代劇、SF特殊撮影など、あらゆる作品の小道具を一手に引き受けてきた実績を自負しています。日本の映画制作業界での実績は高く評価され、第26回日本アカデミー賞協会特別賞を賜りました。昨今は一般レンタルをはじめ、企画催事、祭事部門においても幅広く活動しています。とりわけ祭事部門においては海外での仕事も手がけており、日本文化を海外の方に知っていただくという点においても貢献しています。





○代表者名：南 孝二、南 健太郎　○期末時点の資本金：5千万円
○設立年月日：1944年3月31日　○従業員数：140名

【 沿 革 】

1922年　京都で日本の活動映画が始まり、その小道具を手掛ける
1931年　合資会社高津商店設立、映画の小道具専門会社として発足
1934年　東京出張所開設
1944年　有限会社高津小道具店設立
1956年　高津映画装飾株式会社設立
1961年　有限会社高津小道具店を高津装飾美術株式会社に改組
1966年　株式会社高津工芸設立
1998年　「芸能美術文庫PAL」オープン
2003年　第26回日本アカデミー賞協会特別賞受賞

主な実績

・劔岳　点の記（東映）
・カムイ外伝（松竹）
・沈まぬ太陽（角川）
・YATTER MAN（日活）
・K－20／怪人二十面相伝（東宝）
・相棒－劇場版－（東映）
・ゲゲゲの鬼太郎　千年呪い歌（松竹）
・次郎長三国志（角川）
・百万円と苦虫女（日活）
・ALWAYS 続・三丁目の夕日（東宝）
・信長協奏曲（東宝）
・杉原千畝（東宝）
・永遠の0（東宝）



株式会社 水木プロダクション
ミズキプロダクション

E-mail▶gegege@mizukipro.com
HP▶http://www.mizukipro.com/



漫画制作、水木しげるの著作物の著作権管理

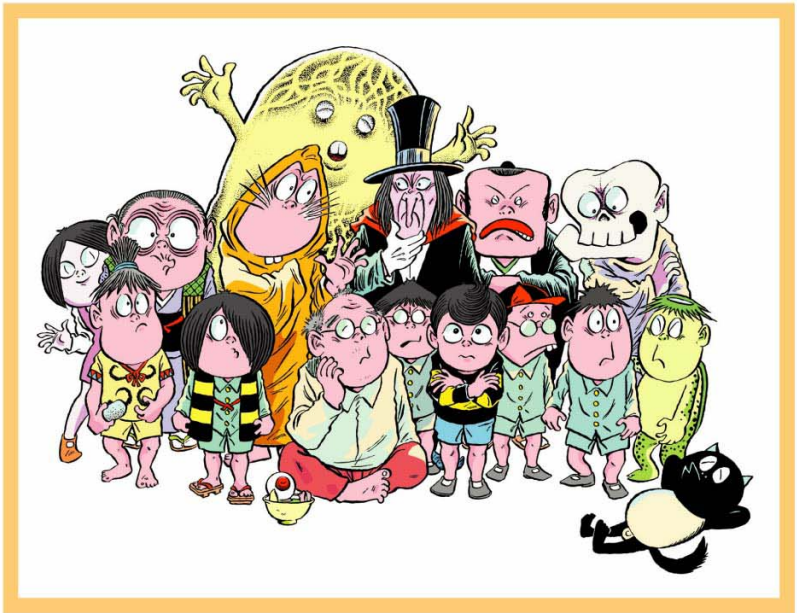
地域貢献に力を入れており、市の取組みに協力している。

○代表者名：原口 尚子
○設立年月日：1966年6月15日

【 沿 革 】

- ・1966年　漫画制作プロダクションとして創業。
- ・現在は著作権管理業が主体
- ・1958年　「ロケットマン」で漫画家デビュー
- ・1959年　調布市民となる
- ・1960年　「幽霊一家・墓場鬼太郎」を刊行
- ・1963年　「悪魔くん」を刊行
- ・1965年　「テレビくん」で第6回講談社児童まんが賞を受賞
- ・1967年　「墓場鬼太郎」のテレビアニメ化に伴い「ゲゲゲの鬼太郎」と改題
- ・1968年　「ゲゲゲの鬼太郎」のテレビアニメ放映開始
- ・1973年　戦争体験をもとにした漫画「総員玉砕せよ!」を発表
- ・1977年　自伝「のんのんばあとオレ」を刊行
- ・1988年　自伝的漫画「コミック昭和史」を刊行
- ・2008年　調布市名誉市民となる





Ⓒ 水木プロ

主な実績

- ・1988年 図書館だより「調布を描く」シリーズを7年間に渡って、調布の風景を描き続ける。描き下ろし終了後の現在でも図書館だよりの表紙を飾り続ける。
- ・2003年 調布市ミニバスに鬼太郎が描かれる
- ・2003年 鬼太郎の木版画「妖怪道五十三次 京都 晴姿妖怪道中」を市に寄贈
- ・2006年 「地域を見守るみんなの目」のポスター等を作成
- ・2009年3月 ゲゲゲの鬼太郎特別住民票交付開始
- ・2010年 ゲゲゲの鬼太郎ナンバープレート交付開始。原動機付自転車（総排気量50cc以下）のナンバープレートを交付。
- ・2014年 鬼太郎、猫娘、一反もめんが描かれた調布駅北第一自転車駐車場がオープン

株式会社 石原プロモーション

イシハラプロモーション

TEL.042-485-5181
住所▶布田4-20-2調布シティビル3階
E-mail▶ipf@ishihara-pro.co.jp
HP▶http://www.ishihara-pro.co.jp/

映画・テレビ映画製作、著作権管理等



既存の枠にとらわれずに、大好きな映画を作りたいという思いで製作会社を設立。石原プロ第1作「太平洋ひとりぼっち」を主演製作、以降、「黒部の太陽」「栄光への5,000キロ」「富士山頂」等を製作、昭和47年以降はTVドラマにも進出し、昭和51年「大都会」シリーズや「西部警察」等を製作、その後も数々の作品を作ってきた。近年では、事業の傍ら、社会貢献活動にも積極的に関わり、「小児ガンの子たちとともに」や「東日本大震災ボランティア」のほか、ケーブルテレビ局とともに取り組んだ「裕次郎の夢」イベントでは、日本赤十字を通じて募金を被災地に送るなどしてきた。

現在は、全国200局のケーブルテレビと提携し、4K映像の新作映画やテレビ番組製作、次世代スター発掘オーディション等を行っている。



○代表者名：石原 まき子　○期末時点の資本金：3千万円
○設立年月日：1963年1月16日　○従業員数：30名

【 沿 革 】

1962年12月28日
石原裕次郎28歳の誕生日の日に、石原プロモーション設立記者会見。
「面白く楽しい映画、客の誰もが喜ぶ誠実さを持った映画を作りたい…」と語る。
1963年1月16日
石原プロモーション設立。資本金3000万円、社員9名。
石原裕次郎が代表取締役社長に就任。
1966年 2月　石原音楽出版を設立。発足は3月1日
1968年 2月　「黒部の太陽」が公開。観客動員数733万7000人で、この年の日本映画最高を記録。また五社協定を打ち破った記念碑的大作ともなった。
1971年 4月　アイ・ピー・エフ（石原プロモーション・フェニックス）設立
1979年10月　テレビ朝日系「西部警察」スタート
1999年 3月　「西部警察・石原プロワールド」小樽にオープン



主な実績

- 映画「栄光への5000キロ」
- 映画「富士山頂」
- 映画「ある兵士の賭け」
- 映画「甦る大地」
- TV映画「大都会」シリーズ
- TV映画「西部警察」シリーズ
- TVドラマ「弟」
- TVドラマ「マグロ」
- TVドラマ「告知せず」

株式会社 アーク・システム

アーク・システム

TEL.042-480-5611
FAX.042-480-5613
住所▶富士見町4-25-11
E-mail▶arcinfo@arc-system.co.jp
HP▶http://www.arc-system.co.jp/



テレビコマーシャル、映画、撮影及びプロモーションビデオ、イベント等あらゆる現場に照明機材を提供し、全国一円でのロケーションに対応

照明機材のレンタルでは、国内トップクラスのシェアを誇り、そのノウハウは撮影現場でも際立って発揮されている。尚、機材の品質管理を惜しまずおこない、更に毎年最新機材の導入をして、照明技術者が安心して使用できる機材の提供といかなる発注にも対応できる体制を整えており、狙い通りの照明を再現するために機材の選択や段取りの相談ができる、ライティング技術と国内では当社でしか扱っていない特殊機材を含む高品質な機材を保有しています。

○代表者名：武藤 光哉　○期末時点の資本金：1千万円
○設立年月日：1990年9月17日　○従業員数：120名

【 沿 革 】

・1990年9月　設立　テレビコマーシャル、映画、イベント等、照明機材レンタル業務
・1998年2月　長野冬季オリンピックのボブスレー、リュージュ競技の照明部門を担当
・1999年2月　ロックバンド20万人コンサートにて照明機材をレンタル
・2002年4月　富士見町へ本社移転
・2004年4月　調布警察等の協力による野川夜桜ライトアップ一大イベントのスタート



主な実績

・TVコマーシャル全般
・ミュージックプロモーションビデオ全般
・長野オリンピック　など

株式会社 エキスプロダクション

エキスプロダクション

TEL.042-483-7300
FAX.042-485-1976
住所▶柴崎1-6-13



各種造形製作、オリジナル着ぐるみ製作、映画、テレビ等の美術製作

日本特撮造形の歴史の第一人者である。各種造形製作、オリジナル着ぐるみの製作、映像に関する業務(映画、テレビ等の美術製作)を行うなど、各種造形製作のノウハウの中で、特に着ぐるみ製作を強みとしている。「大怪獣ガメラ」造形製作、「仮面ライダー」美術製作、「タイムボカンシリーズ」着ぐるみ製作、「ちびまる子ちゃん」着ぐるみ製作、「平成狸合戦ぽんぽこ」キャンペーン用着ぐるみ製作、「ペプシマン」着ぐるみ製作など、数多くの有名作品を手掛けている。

○代表者名：八木 功　○期末時点の資本金：1千万円
○設立年月日：1966年　○従業員数：4名

【 沿 革 】

・1966年設立
東宝特殊技術課に造型師として勤務していた八木勘寿（現代表者の祖父）、八木康栄(勘寿の弟)、八木正夫(父)にて創業
現代表者は事業としては3代目、法人としては2代目
・設立当初は、特撮の撮影・製作を行う
・世田谷から調布市内に移転し、調布市内の宅地開発の変遷に合わせるように、下石原、富士見町、柴崎(現在地)と拠点を移す。



主な実績

・大怪獣ガメラ
・仮面ライダー
・こどもちゃれんじ着ぐるみ
・信州御代田町龍の舞保存会竜神(長野パラリンピック閉会式)
・ガッパ

共進倉庫 株式会社
キョウシンソウコ

TEL.042-486-4111
FAX.042-486-4115
住所▶柴崎1-55-3
E-mail▶info@kyoshin-soko.co.jp
HP▶http://www.kyoshin-soko.co.jp

物流業務全般の請負、映画フィルム等の保管、トランクルーム、引っ越し、貸倉庫、物流不動産の仲介



調布市に映画関連の仕事をしている企業が多いことから、40年近く映画フィルム、放送用ビデオテープ、撮影セット、小道具、衣装など、映画にまつわるあらゆるものを倉庫で預かっている。

映画フィルムは適切な保管環境（推奨される環境はCold&Dry）でないと劣化し、最悪映像が見られなくなってしまうこともあるため、共進倉庫では日本の映画資産を守るため、2010年に日本の民間倉庫会社で初めて、フィルム専用の低温倉庫（5℃）を設立。また、全国の映画館にフィルム、チラシ、ポスターなどを発送する仕事も請け負っている。映画関連の仕事以外では、昨今著しく伸びている通信販売の物流請け負いや、個人向けのトランクルームサービスにも力を入れている。

主な実績

・大手映画会社の映画フィルムを多数保管

○代表者名：田澤 正行　○期末時点の資本金：5千万円
○設立年月日：1971年1月　○従業員数：40名

【 沿 革 】

・1959年3月　共進倉庫の前身である共進興業（株）創立
・1971年1月　商号を共進倉庫株式会社へ変更
　6月　倉庫業の許可を受け、倉庫業をスタート
　10月　本社倉庫を調布市飛田給に開設
・1974年4月　富士見町倉庫開設
・1980年6月　共進野口倉庫本館開設
・1986年3月　一般区域貨物自動車運送事業の免許を取得
・1987年6月　本社倉庫新館開設
・1988年5月　共進野口倉庫新館開設
・1993年6月　調布市柴崎に調布東営業所を開設
・2007年6月　プライバシーマーク認定取得



株式会社 ジェイコムイースト調布局
ジェイコムイーストチョウフキョク

TEL.0120-999-000
FAX.042-446-0000
住所▶西つつじヶ丘1-12-3
HP▶http://www.jcom.co.jp

有線テレビジョン放送事業及び電気通信事業

J:COMのケーブルテレビ事業

放送・通信サービスをひとつに。J:COMでもっと楽しく、さらに便利に。

J:COMは、光ファイバーによるブロードバンドネットワークを通じて、ケーブルテレビ／高速インターネット接続／固定電話など、多彩なサービスをお客さまへ提供している。さまざまなサービスから、お客さま一人ひとりに合ったプランを提案。

J:COMのメディア事業

多彩なコンテンツも、地域の話題も。J:COMのメディアで楽しみもっと広がる。

J:COMは国内最大級のマルチチャンネルオペレーターとして、各種専門チャンネルへの出資および運営を行っている。また自主放送のコミュニティチャンネルを運営する地域密着型のメディア。多彩な自社媒体を有し、総合的なメディア事業を展開。

主な実績

・ジモトピ世田谷・調布・狛江（TV放送）
・デイリーニュース（TV放送）
・FC東京ビバパラダイス（TV放送）
・ジモスポTOKYO　ほか

○局長：荒井 明
○設立年月日：1995年1月　○従業員数：75名（グループ総計約14,000名）

【 沿 革 】

・1995年1月　住友商事（株）とTele-Communications International, Inc（現:Liberty Global, Inc.）の合弁会社として設立
・2005年6月　調布市内では調布ケーブルテレビジョン株式会社より業務継承し現在に至る

株式会社 ジャンゴフィルム

ジャンゴフィルム

TEL.042-499-1469
FAX.042-499-1409
住所▶染地2-8-12 日活調布撮影所内
E-mail▶apply_to@django-film.co.jp
HP▶http://www.django-film.co.jp



映画・TV等、企画制作プロダクション業務
CM・PV等、制作プロダクション業務

映画会社日活100年の歴史と伝統の遺伝子を受け継ぎ、時代を切り開く「感性」で劇場映画、TVドラマ、ミュージックビデオ等様々なジャンルの映像作品を制作しています。

○代表者名：椋樹 弘尚
○設立年月日：2007年10月12日　○従業員数：10名

【 沿 革 】
2007年10月12日 日活株式会社と株式会社デスペラードの出資により設立。
2009年3月31日 日活の100%子会社となる。

【 ACCESS 】



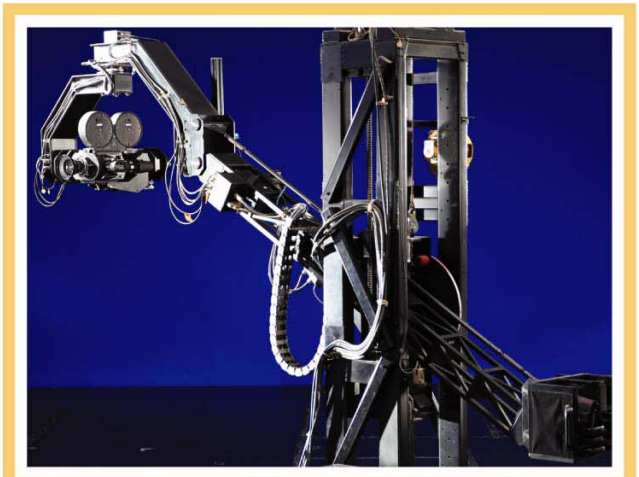
主な実績

2016年「日本で一番悪い奴ら」
「ヒーローマニア - 生活 - 」
「俳優 亀岡拓次」
「ヒメアノ～ル」
2015年「俺物語!!」
「劇場霊」
「極道大戦争」
「忘れないと誓ったぼくがいた」
2014年「TOKYO TRIBE」
「WOODJOB!～神去なあなあ日常～」

株式会社 白組

シログミ

TEL.042-483-7617
FAX.042-488-2092
住所▶多摩川5-20-1 株式会社白組 調布スタジオ



番組・映像の企画制作

最先端と伝統技術が混在し、ハンドクラフト精神が生きた本物の映像を追求することが「白組」の旗印。人の心を打つ良質な作品を世に送りだす、長く人々に愛される作品を作り続けたい、それが「白組」の目標となっている。人が生きるためには、衣・食・住にプラス心の糧が必要。心の糧を担当する仕事(職業)を自覚する、それが「白組」の企業理念。

テレビコマーシャルのアニメーションおよびヴィジュアルエフェクト部門の企画製作、劇場用長編実写映画・アニメーション映画、テレビ用実写番組・アニメーション番組の企画製作、劇場用映画のヴィジュアルエフェクト部門およびタイトルの製作、見本市、博覧会などの大型特殊映像の製作、コンピュータ・グラフィックスを使用した映像の企画制作と、事業内容は多岐に渡る。

○代表者名：島村 達雄　○期末時点の資本金：4億9千5百万円
○設立年月日：1974年8月28日　○従業員数：195名

【 沿 革 】
・1973年　島村企画室を開設
・1974年　発展的に解散　株式会社白組設立
・1977年　杉並スタジオを建設
・1983年　コンピュータ・グラフィックスシステム稼動開始 コンピュータ・コントロールアニメーション撮影システム導入
・1986年　調布スタジオ新設
・1990年　調布スタジオを大幅改築 コンピュータ・グラフィックス、モーションコントロール撮影、立体モデル、ミニチュアセットの製作などSFXの総合製作スタジオ化を完成
・2006年　三軒茶屋スタジオ開設



主な実績

・2000年　「ジュブナイル」全国東宝系公開
・2002年　「リターナー」全国東宝系公開
・2005年　「ALWAYS 三丁目の夕日」全国東宝系公開
・2007年　「ALWAYS 続・三丁目の夕日」全国東宝系公開
・2008年　「K-20 怪人二十面相・伝」全国東宝系公開
・2009年　「BALLAD 名もなき恋のうた」全国東宝系公開
・2010年　「SPACE BATTLESHIP ヤマト」全国東宝系公開
・2011年　「friends もののけ島のナキ」全国東宝系公開
・2012年　「ALWAYS 三丁目の夕日'64」全国東宝系公開
・2013年　「永遠の0」全国東宝系公開
・2014年　「STAND BY MEドラえもん」全国東宝系公開
・2014年　「寄生獣」全国東宝系公開
・2015年　「寄生獣 完結編」全国東宝系公開

東映ラボ・テック 株式会社
トウエイラボ・テック

TEL.03-3430-3331
FAX.03-3489-2093
住所▶国領町8-9-1
E-mail▶soumu@toeilab.jp
HP▶http://www.toeilab.co.jp/

劇場用映画のデジタルマスター作成、映画フィルムの現像、プリントの制作等

過去の名作から最新作まで、フィルムの現像を主に映画に携わる。近年は、映像のデジタル化により、フィルムの現像だけではなく、最新鋭の機材を導入し、デジタル映像にも対応。

○代表者名：中山 正久　○期末時点の資本金：1億円
○設立年月日：1951年3月17日　○従業員数：200名

【 沿 革 】
1951年3月 小西六写真工業㈱（現コニカミノルタ㈱）の傍系会社として国産カラーフィルムの現像を目的とし、日本色彩映画株式会社設立 カラーフィルムの現像開始
1959年3月 東映㈱のグループ会社として新発足
1960年5月 商標を「東映化学工業株式会社」に変更
1961年10月 東京証券取引所第2部に上場
1987年8月　東京都港区赤坂に「赤坂ビデオセンター（TOVIC）」を開設（～2010年6月まで）
1999年4月 ㈱ジャパン・オリジナル・テクニック（J・O・T）を子会社化（現サブタイトルグループの前身）
2002年10月 商標を「東映ラボ・テック株式会社」に変更し、東京都中央区銀座に営業所を移転
2007年3月 東映㈱との株式交換による完全子会社化に伴い、東京証券取引所第2部の上場を廃止
2010年8月 東映㈱東京撮影所内に東映デジタルセンターがオープン、同センター内に東映デジタルラボ株式会社を開設（TOVICを社名変更して移転）



株式会社 東京現像所
トウキョウゲンゾウショ

TEL.042-486-2171
FAX.042-484-3768
住所▶富士見町2-13
E-mail▶togen@tokyolab.co.jp
HP▶http://www.tokyolab.co.jp

劇場用映画の仕上げ、放送用番組の編集、劣化した映画・映像の修復

日本で数少ない映画用フィルムを扱うことが出来る会社で、同時に最新のデジタル技術も持っており、4Kにも対応しております。映像を処理することにおいては、ほぼあらゆることが出来ます。特に映画制作に於いて重要な全体の色のトーンを決める技術者を多く抱えており、監督やカメラマンの狙った通りの色を出すことが出来ます。また、当社のインビジブルVFXの技術は業界に於いて高い評価をいただいており、昨今製作されるほぼ全ての映画にこの技術は使われております。さらに古い映像作品を最新の4Kでデジタルリマスターすることができ、「七人の侍」「ドラえもん」「世紀のご成婚」などを手がけました。



○代表者名：矢部 勝
○設立年月日：1955年4月22日

【 沿 革 】
・創立当時の映画界はモノクロからカラーへの過渡期
・1955年4月22日　フィルムの現像にもますます高度な技術力が必要とされるなかで「既存の一社に加え新しい現像所をつくれば、技術面でも、サービスの面でも競争が生まれ映画業界全体のプラスになる」との趣旨で、各映画会社の賛意を得て設立が決定し、現在地・調布に誕生
・その後技術の革新に対応しデジタル処理技術、フィルムとデジタルの中間技術、劣化したフィルムの修復技術など、多彩な技術を展開し、ワンストップで映画、映像を「創り・護る」ことができる



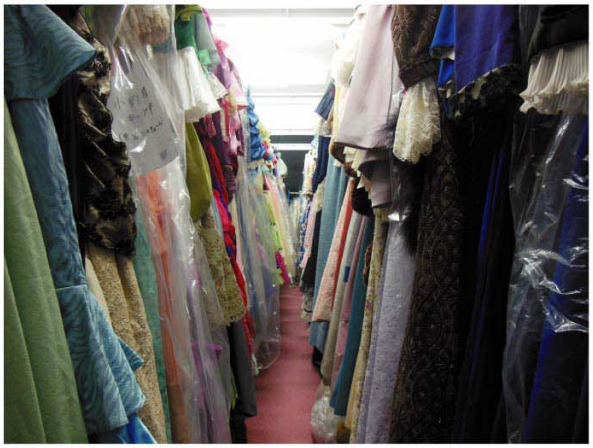
主な実績

・「男はつらいよシリーズ」
・「となりのトトロ」
・「映画ドラえもんシリーズ」
・「劇場版名探偵コナンシリーズ」
・「映画クレヨンしんちゃんシリーズ」
・「ゴジラシリーズ」
・「世界の中心で、愛をさけぶ」
・「劔岳　点の記」
・「母と暮らせば」
・「orange」

東宝舞台 株式会社〈衣裳部〉

トウホウブタイ

TEL.042-490-5381
FAX.042-490-5385
住所▶富士見町2-13
E-mail▶infoisho@tohostg.co.jp
HP▶http://www.tohostg.co.jp



舞台・テレビ美術の製作、大道具・小道具・衣裳等の製作・操作

レビューの舞台美術に始まり、帝国劇場・日本劇場など、東宝演劇の発展とともに、多様な舞台を手掛けて技を磨く。外国からのオペラ・バレエなどの舞台美術製作にあたり、技術力の高さに世界的な評価を得る。NHK総合テレビ開局にあたり大道具製作・操作に従事し、以後各TV局のセット製作・操作の道も切り開く。今はなき東京映画（株）の発足に伴い、映画セット製作や衣裳小道具製作も手掛け、映画の世界にも携わってきた歴史がある。今後は、演劇・映像・コンサート・イベントなどのジャンルに拘らず、磨き上げてきた技と新しい技術や物を取入れ駆使し、新たな道を築いて行きたい。

○代表者名：加藤 陽則　○期末時点の資本金：1億5千万円
○設立年月日：1951年7月27日　○従業員数：240名（うち衣裳部25名）

【 沿 革 】

・1932年　東京宝塚劇場の開館に伴い設立した「東宝舞台部」（大道具・小道具・衣裳を扱う）が母体
・1951年　東宝（株）から独立し東宝舞台（株）となる
・当初、日本劇場（日劇）の中に事業所を置きスタート
・1958年　帝国劇場内に移転し、1964年には港区赤坂に移転
・1978年　世田谷区玉川台に移転
・1998年　世田谷区成城の東宝スタジオ内に移転
・2010年　調布市富士見町の東京現像所内に移転
・現在に至る



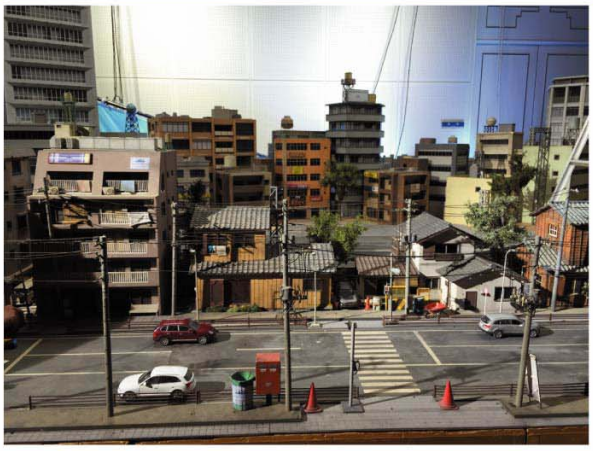
主な実績

・レ・ミゼラブル（帝国劇場）
・エリザベート（帝国劇場）
・Endless SHOCK（帝国劇場）
・放浪記（シアタークリエ）
・細雪（明治座）
・NINAGAWAマクベス（シアターコクーン）
・元禄港歌（シアターコクーン）
・北島三郎公演（明治座）
・緒方貞子物語（NHK）
・東京時代祭（浅草）

株式会社 マーブリングファインアーツ

マーブリングファインアーツ

TEL.042-498-0555
FAX.042-498-0550
住所▶国領町8-4-12
E-mail▶mfa2@marbling.net
HP▶http://www.marbling.net



①映像、写真、展示、博物館等の特殊造形プロジェクトマネジメント
②特撮映像企画、制作、プロデュース

映像・展示・イベントなどの美術に関わるプロジェクトマネジメントを中心に行う。海外(主に北米・中国)での対応も可。映像制作(企画・制作・CG・編集)も手掛ける。

○代表者名：岩崎 憲彦
○設立年月日：1974年1月1日

【 沿 革 】

・1972年　舞台美術・看板制作会社　有限会社アースアートとして世田谷区砧に開業。
・1974年　株式会社マーブリングファインアーツとして狛江市に移転。このころより、業務比重が映像美術に移る。特撮映像及び、コマーシャル、ポスターなどの美術プロジェクトマネジメントを中心に、展示、イベント造形制作開始。
・1984年　調布市国領町へ社屋建築。
・2004年　代表取締役 高屋文治が退任し会長職へ。岩崎憲彦が代表取締役社長に就任。現職。



主な実績

・ウルトラマンX
・ラブ&ピース
・ギャラクシー街道
・櫻花
・海難1890
・進撃の巨人
・特撮博物館
・宇宙兄弟
・原鉄道博物館
・GANTZ

有限会社 マリンポスト

マリンポスト

TEL.042-481-2181
FAX.042-486-8491
住所▶多摩川4-22-6三星ビル2F
E-mail▶studio@malin.co.jp
HP▶http://www.malin.co.jp

ポストプロ作業、VFX、映画用タイトル、CGアニメーション

長年に渡り日本映画・ドラマにおける視覚効果（VFX）に携わっており、撮影の立ち合いから最終的な合成作業まで、総合的なVFXプロデュースを行う。3DCGやマットペイントなどのデジタル技術を駆使し、自然でリアルかつ人々に驚きや感動を与えられるような映像作りを常に目指す。

CG技術が著しく発展していく中、映像の質と作業効率をより良くするために日々進歩する技術や新しいソフトウェアを積極的に取り入れる。また、発展し続けるこれからの日本のVFX業界を担っていくであろう若い人材の育成にも力を入れている。



○代表者名：森山 高明　○期末時点の資本金：3百万円
○設立年月日：1978年3月1日　○社員：9人　クルー・準業員：8人

【 沿 革 】

- 1978年3月1日 国領で創業、アジアのポストプロを開始
- 特殊効果の開発とPR映画の受注開始
- 1987年10月29日 調布市多摩川に移転
- 1989年 日本映画業界に特殊効果とタイトルで参入
- 1996年3月22日 法人化



主な実績

- 進撃の巨人 ATTACK ON TITAN　・図書館戦争
- 杉原千畝 スギハラチウネ　・清須会議
- ギャラクシー街道　・ジョーカー・ゲーム
- ST 赤と白の捜査ファイル　・のぼうの城
- 仮面ライダーシリーズ　・スペシャルドラマ 永遠の0

主要取引先

- ピクチャーエレメント
- ビッグ・エックス
- 特撮研究所
- 日本映像クリエイティブ
- 日テレアックスオン

株式会社 遠藤材木店

エンドウザイモクテン

TEL.042-483-3100 FAX.042-483-3101
住所▶国領1-1-11

材木、新建材、水廻り商品、建築材料の販売、リフォーム工事

業界では信頼が厚い老舗店。幅広い商品を仕入れることが可（合板やランバー材は、3×6、4×8のサイズ等多品種在庫）。従業員は全員、配達、営業、加工をこなし、お客様のニーズに応える素早い対応を目指している。職人不足が予想される昨今、最先端の加工の機械を導入して加工技術を高めていく予定。



○代表者名：遠藤 通郎　○期末時点の資本金：1千万円
○設立年月日：1947年5月7日　○従業員数：7名

【 沿 革 】

- 2016年で創業138年目を迎え、現社長の遠藤通郎は7代目社長
- 1964年　東京オリンピックの開催で盛り上がる年に、調布営業所開設（2016年で51年目）
- 主に木材の販売を中心に商いをしてきているが、合板、石膏ボード、新建材、水廻り商品など時代にあった商品を先取りし、現在に至る

株式会社 映人

エイジン

TEL.042-490-6979 FAX.042-490-6980
住所▶西つつじが丘3-37-2 横田ファイブ301
E-mail▶every@eijin.co.jp　HP▶http://www.eijin.co.jp

企業用映像制作（商品・サービスプロモーション、イベント映像等）その他、映像制作全般

企画立案からシナリオ・構成、演出、撮影、編集まで一貫した制作体制。クライアントと対話を重ねながら“一緒にモノをつくる”姿勢。企業ビデオは20年以上の実績があり、予算や目的に応じてフレキシブルなご提案が可能。現在は短編映画を自主製作し、映画の事業化を目指している。映像制作の売上:100%。



○代表者名：大町 泰人　○期末時点の資本金：50万円
○設立年月日：2013年7月1日　○従業員数：2名

【 沿 革 】

- 2013年7月現代表取締役の大町泰人が、以前に勤務していた映像制作会社（株式会社トーイン）から、映像事業部を分離・独立させる形で設立
- 2015年9月　生命保険会社、外食産業を中心に、プロモーション、社員教育、リクルート等の映像制作を行う一方、自主制作の短編映画を2本制作し、ドラマ作りのスキルを磨いて、現在に至る。

主な実績

- つづく（長編映画）
- 東京映像素材集（東京観光財団HP掲載）
- ローランド販売用資料映像ライブラリー
- はせがわWebムービー
- エクスプレス・フォーラム

主要取引先

- セールス手帖社保険FPS研究所（出版社・シンクタンク）50%
- 株式会社ライドオン・エクスプレス（宅配寿司チェーン）15%
- 株式会社レインズインターナショナル（焼肉、居酒屋チェーン）8%
- 株式会社成城石井（スーパーマーケットチェーン）7%
- 株式会社アジャ（デザイン事務所）5%

TV、CM、映画、PV等の撮影効果業務

有限会社 グリフィス

グリフィス

TEL.042-486-1420 FAX.042-485-4552

住所▶調布ヶ丘4-21-2

HP▶http://griffith1994.com

撮影用クレーン・ドリーのオペレーター、撮影効果

特機オペレーター、撮影用雨降らし・雪降らしなどの撮影効果の運用など、映画撮影ノウハウを生かした提案力に強みを持つ。大型クレーン、小型クレーン、ドリーなどを俳優の動きに合わせて操作する技術や雨、雪、風、霧等の特殊効果の提供が可能。映画、映像関係に100%特化しており、ノウハウを蓄積している。



○代表者名：上竹 寛一　○設立年月日：1994年1月26日
○従業員数：15名

【 沿 革 】

・1994年　日活内にある撮影用特機運用会社より、現代表者が独立して創業
・調布市国領での立上げ
・2000年に現在地に移転

主な実績

・「WOOD JOB」
・「八日目の蝉」
・「のぼうの城」
・「東京家族」
・「宇宙兄弟」
・「テルマエロマエⅡ」
・「ノルウェーの森」
・「海猿」
・NHK大河ドラマ
・その他CM、テレビドラマ等

広告デザイン業、ゲームイラスト制作

有限会社 クリエイティブハウスポケット

クリエイティブハウスポケット

TEL.042-426-7791 FAX.042-426-7792

住所▶布田4-20-2 調布シティビル901
E-mail▶noguchi@ch-pocket.co.jp
HP▶http://www.ch-pocket.co.jp/

ゲームイラスト制作、オリジナルキャラクター制作、アニメーション制作、グラフィックデザイン一般

完全内製化のイラスト制作では、他社ではできない分業が可能なため、クオリティの高い作品の量産が可能。

現在アニメーションの素材作りの受注はしておりますが、アニメーション制作に関しては、オリジナルのものだけですので、その一部も仕事として受注できるように考えている（売上の1／3）。



○代表者名：野口 式一　○期末時点の資本金：3百万円
○設立年月日：1996年12月17日　○従業員数：29名

【 沿 革 】

・1995年 笹塚にて創業。（社員3名）
・1996年12月 有限会社クリエイティブハウスポケット設立
・1997年6月 笹塚で事務所移転（社員6名～8名）
・2009年3月 笹塚から調布に移転
・2013年1月 日活撮影所内に事務所移転
・2013年12月 小島町の第2荒井麗峰ビル501に移転
・2015年6月 現在の調布シティビル901に移転

主な実績

・サモンズボード（ガンホー）
・真・戦国バスター（Klab）
・ボクらのポケットダンジョン2（enish）
・千年の巨神（enish）
・逆転オセロニア（DeNA）　…等

主要取引先

・株式会社ディー・エヌ・エー	20%
・株式会社DMM.comラボ	10%
・株式会社Aiming	20%
・株式会社スクウェア・エニックス	10%
・日活株式会社	10%

劇団

株式会社 劇団芸優座

ゲキダンゲイユウザ

TEL.042-489-4555 FAX.042-489-9170

住所▶多摩川2-28-4　E-mail▶info@geiyuza.com

HP▶http://www.geiyuza.com

舞台公演、映画・コマーシャルなどの製作、TV番組の企画構成

「演劇はまず面白く、確かなテーマで観客と共に創造する」をモットーに、オーソドックスで美しい、総合芸術としての舞台を常に目指している。作品レパートリーは、国内外を問わず、古典・名作、現代的なテーマを見据えたオリジナル作品も数多く、毎年10作品以上、平均200ステージ公演。



○代表者名：平塚 仁郎　○設立年月日：1972年11月2日
○従業員数：52名

【 沿 革 】

・劇団代表は日活で15年間映画の仕事に携わった後、新宿区四谷に劇団を立ち上げ、テレビやコマーシャルなどの仕事もしていた。
・1988年馴染み深い調布市多摩川に戻り、事務所・稽古場・倉庫を構えた。
・劇団の創立理念は「青少年にだからこそ最高の演劇を観せたい」。18歳から87歳までの各世代に亘る劇団員・研究生が、共に日夜研鑽に励み、全国のホールや会館をはじめ、文化庁の助成公演、公共施設の自主事業、教育委員会や学校の芸術鑑賞行事での公演を、精力的に続けている。

主な実績

・中高生版「ベニスの商人」
・中高生版「ｱﾝｸﾙﾄﾑの小屋の灯に」
・中高生版「最後の一葉」
・小学生版「天狗山のトロッ平」
・小学生版「グリムのハンスと大悪魔」

主要取引先

・各都道府の小・中・高等学校	70%
・各都道府県の教育委員会	10%
・各都道府県の市民会館等公共施設の自主自業	10%
・文化庁	10%

芸能プロダクション

有限会社 クロキプロ

クロキプロ

TEL.042-487-0721 FAX.042-487-3975

住所▶布田4-4-3 DUALEA101
E-mail▶extra@kuroki-pro.com
HP▶http://kuroki-pro.com

映画・ドラマ・CMなどへのエキストラ紹介業 俳優のマネジメント

年間の出演者の紹介数は約1万5千人で現在の取引会社数は100社を超える。紹介媒体は、映画ドラマが70%、CM広告関連が30%。95%はエキストラで、残り5%は俳優として出演。

昨今、BSやCS、専門チャンネル、WEBやスマートフォン用の動画制作も盛んなので需要は益々増えている。



○代表者名：星野 和子　○期末時点の資本金：6百50万円
○設立年月日：1988年7月25日　○従業員数：6名

【 沿 革 】

1945年　日本映画フリーランサー協会設立
1946年　日本映画俳優学校設立【俳優養成学校】
1948年　労働大臣許可取得【日本第一号】
1976年　クロキプロ演技者紹介所と新たに出発
1988年　有限会社クロキプロ設立
1991年　有限会社クロキプロ芸能家紹介所法人許可取得
2015年　新事務所オープン

主な実績

・あぶない刑事	・アウトレイジ
・踊る大捜査線	・おくりびと
・真田丸	・あまちゃん
・ピンクとグレー	・セーラー服と機関銃
・RAIN FALL	・家政婦は見た!

主要取引先

日本放送協会、民放各局、映画制作会社各社、㈱石原プロモーション、㈱オフィス北野

サービス業

株式会社 照太郎
ショウタロウ

TEL.042-499-1627 FAX.042-499-1739

住所▶染地2-8-12日活調布撮影所内
E-mail▶showtaro@rhythm.ocn.ne.jp
HP▶http://www.showtaro.co.jp/

映画、TV、CM、PV等の映像の為の照明技術の提供

フィルム・HD撮影も豊富な経験のもと仕事を行う。映像表現とは真っ黒いキャンバスに構図・デッサン等で春夏秋冬・朝昼夕夜を心象風景として色づけし、脚本やテーマに基づいて「光で絵を作る」事だと考え、自信と誇りをもって一灯、一灯ライティングしていく。



○代表者名：才木 勝
○設立年月日：2009年7月30日　○従業員数：11名

【 沿 革 】

・2009年7月30日
長年フリーで映画、TV、CM等の照明技術の仕事を行う。
個々の長年積み重ねてきた技術・信用・仲間を更に向上させる為、設立・機材・車輌・消耗品等は取引会社からも全面支援をいただく

主な実績

・トイレのピエタ　・ホワイトリリー
・オーバーフェンス　・葛城事件
・風に濡れた女　・ダーティーボーイズ,ディアボリス
・太陽　・ストレイヤーズ・クロニクル
・私の男　・バンクーバー朝日

主要取引先

・(有)キリシマ　・(株)共立ライティング
・(株)大映テレビ　・日活撮影所
・松竹撮影所　・東宝スタジオ　…他

映像コンテンツの企画・制作・配給

株式会社 シグレゴコチ
シグレゴコチ

TEL.042-444-5166

住所▶国領町2-5-15コクティー3F E-mail▶info@shigurego.com
HP▶http://www.shigurego.com

教育系コンテンツの企画・制作・編集

「子ども」と「教育」の映像コンテンツ制作に、豊富な経験とノウハウがある。子ども向け、社会人教育、企業研修等、様々な分野の映像・教育コンテンツの企画から制作、編集に一貫して対応。また、WEB、出版、ICT、イベントなど、「子ども」と「教育」に関わる総合的なコンテンツ企画も得意分野。

シグレゴコチ

○代表者名：田辺 弘樹　○設立年月日：2015年9月11日

【 沿 革 】

・教育系出版社で長年にわたり映像教材制作を経験後、独立して会社を設立
子どもの成長に役立つ良質な映像コンテンツを提供して、子育てや教育の環境を良くすることを目標に、様々な事業を展開

・子どもたちに観て欲しい映画や映像作品を国内外から集める配給事業や、教育研究機関や企業などと連携した子ども向け映像コンテンツの企画制作を行うとともに、それらを実際の子育てや教育の現場で効果的に活用するためのプログラムの開発・普及にも努める

サービス業

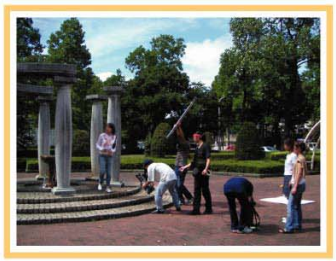
有限会社 スペース・ワイ
スペース・ワイ

TEL.042-483-1080

住所▶富士見町3-21-22-402
E-mail▶info@space-y.com　HP▶http://space-y.com/

映像ソフトの企画制作

制作分野は、PR映像や販売促進、教育、出版映像、TV-CM等多岐に渡るが、特に教育映像の制作が得意。作品の規模を問わず、目的・予算に応じたフレキシブルな制作体制を組むことが可能。売上げの大部分は市外の出版社等からの受注による。約3年前から代表者個人がボランティア活動としてJ:COMから放送している調布市民放送局の番組の一部を制作。



○代表者名：湯原 達夫　○期末時点の資本金：3百万円
○設立年月日：2002年1月8日

【 沿 革 】

・2002年　会社設立
・現在の代表者は1代目
(日本大学芸術学部映画学科卒)
・当社設立以前から、TBSグループ、東映グループ、DNP映像センター等で、主に一般企業や出版社向けの映像、及びTV番組の制作を行ってきた。

主な実績

・面接試験直前対策DVD
・命の現場24時ドキュメントDVD
・はじめての英会話DVD
・高度熟練技能の現場ビデオ3巻
(きさげ仕上げの技、アルミ溶接の技、鋳造模型製作の技)
・大規模地震発生に伴う自衛消防組織の活動
(Eラーニング用)

主要取引先

株式会社 ベネッセコーポレーション
株式会社 日本水道新聞社　・・・他

CM、MV、TV、映画、舞台の特殊美術造型製作

株式会社 スドー・アート工房
スドー・アートコウボウ

TEL.042-482-3982 FAX.042-482-3925

住所▶佐須町1-6-5　E-mail▶sac-office@jcom.home.ne.jp
HP▶http://members3.jcom.home.ne.jp/sac-main/

着ぐるみ・特殊衣装・FRP・アニマトロニクス等製作

映画、CM、MV等の映像作品に登場する、着ぐるみ・マペット、衣装、小道具、擬木等特殊美術造型を製作。長年培かった確かな技術力と進化する業界に適応・提案できる柔軟な発想力が強み。表情などをリモコンにて操作演技するアニマトロニクス仕様の製作が多く、オリジナル操作リモコンへの可能性に注目。



○代表者名：山本 和弘　○期末時点の資本金：2千250万円
○設立年月日：1980年12月10日　○従業員数：7名

【 沿 革 】

・1980年　須藤浩一郎がフリーランスの仲間と共に有限会社スドー・アート工房を調布市柴崎に創業設立。映画など映像作品の美術造型製作や劇団の人形・衣装等プランデザインを行う。
・1995年　調布市佐須町に工房を移転
・2010年　株式会社スドー・アート工房となる
・2015年　代表取締役社長に山本和弘が就任、創業者須藤浩一郎 逝去
・現在、映像作品の特殊美術造型(着ぐるみなど)をメインに製作

主な実績

・サランラップ® CMキャラクター着ぐるみ
・フロム・エー・ナビCM パン田一郎
・ハルカス300キャラクター着ぐるみ「あべのべあ」
・ヤマサ醤油CM マペット
・デルゼCM パンダマペット

主要取引先

・株式会社 角川大映スタジオ
・株式会社 東北新社
・株式会社 電通
・株式会社 博報堂

貸衣裳業

有限会社 第一衣裳
ダイイチイショウ

TEL.042-483-6047 FAX.042-482-3158

住所▶染地2-8-12日活調布撮影所内

映画・テレビ・舞台に関する衣装のレンタル

長年の業歴から、映画製作会社との信頼関係は強く、安定した受注を確保。親会社が東京衣裳(株)のため、多くの衣装アイテム数を保有し、様々なニーズに対応できる。貸衣裳業には着付けの技術も必要であり、従業員は熟練した技術を保有。映画・映像に関連する仕事が95%以上、そのほか舞台などの業務を行う。



○代表者名：岩崎 文男
○従業員数：4名

【 沿 革 】
・1951年　旧京都衣裳から分離独立、日活に事務所を設立する。
・その後東京衣裳株式会社のグループ企業の1社となる。
・その他グループ企業
・株式会社ティーシークレオ
・有限会社第一衣裳
・有限会社東京イショウサービス

主な実績
・戦争と人間(3部作)
・西部警察
・あぶない刑事
・少年H
・座頭市 THE LAST STORY
・太平洋ひとりぼっち
・男の世界
・人類資金
・必死剣鳥刺
・北のカナリアたち

映像制作

株式会社 創朋
ソウホウ

TEL.042-441-0161 FAX.042-441-0338

住所▶調布ヶ丘3-39-1　E-mail▶soho@gekitori.net

HP▶http://www.gekitori.net

CM、TV番組、販売用ソフトの企画制作、ビデオソフトの制作

特殊機材等を用いて、変わったアングルや臨場感のある自然風景の撮影ができることが特徴。日本を撮り続けて30年。北海道から沖縄まで、日本全国のロケーションを知り尽くしていることが大きな強み。ドローンやジンバルを用いた撮影など、新しい撮影技術も意欲的に取り入れ、映像制作に取り組んでいる。



○代表者名：石川 重男　○設立年月日：1985年9月5日
○従業員数：6名

【 沿 革 】
・映画、映像制作企業から独立し、創業。創ることへのこだわりと映像美を常に追求。主に自然風景、神社仏閣、名所旧跡、景勝地などをテーマにした映像作品の制作、撮影を手掛ける。
・2000年頃　事業所を新宿から調布市に移転。現在に至る。

主な実績
・必見!日本の風景
・空から見る日本の絶景
・美しき日本の自然100選
・日本の秘境と仙境
・日本の庭
・日本街道の旅
・日本列島 鉄道の旅
・終着駅まで
・車で行く日本の名所
・車で行く日本の旅

美術品レンタル・装飾請負業

株式会社 日映装飾
ニチエイソウショク

TEL.042-487-1376

住所▶佐須町5-1-14　E-mail▶nichiei-soushoku@amail.plala.or.jp

HP▶http://nichiei.from.tv/

美術装飾品

装飾業務と並行して、持ち道具・電飾・ネオンなど、時代物から現代物まで各種小道具のレンタルを行っている。

株式会社日映装飾

○代表者名：庄島　毅
○設立年月日：2010年3月8日　○従業員数：4名

【 沿 革 】
・2010年　設立
日活で管理していた装飾品を買い取り、事業開始
・美術装飾品の倉庫管理・レンタル業として現在に至る。

主な実績
2016年　エヴェレスト 神々の山嶺
2016年　殿、利息でござる
2016年　星ガ丘ワンダーランド

映像制作、セールスプロモーション

株式会社 トラスゴーメディア
トラスゴーメディア

TEL.042-426-8383 FAX.042-426-4767

住所▶深大寺南町5-3-28　E-mail▶info@trust-go.jp

HP▶http://trust-go.jp

映像制作、インターネット生中継、インターネットコンテンツ制作、セールスプロモーション

テレビ、コンピュータ、ポータブルデバイスなどの機器、および放送やインターネットなどのインフラに対する知識をもとに、セールスプロモーションの観点から最適なPR情報のアウトプットをご提案。

トラスゴーメディア

○代表者名：杉浦 信行
○設立年月日：2015年7月7日

【 沿 革 】
・2015年　音楽制作、テレビ番組制作、広告代理店などの業種を経験し、インターネットと映像を融合したコンテンツビジネスを展開し、調布を中心とした多摩地域に貢献することを目的として設立

主な実績
・「観る!食べる!楽しむ!深大寺!」
(深大寺観光案内ムービー)

照明機材のリース業

株式会社 日本シネ・サービス

ニホンシネ・サービス

TEL.042-485-9010 FAX.042-485-9022

住所▶富士見町4-27-1

E-mail▶mail@japan-cine.com

映画、ドラマ、CM撮影用の電源車と機材車、照明機材のレンタル

品質の良い機材の提供をする為、日々、従業員一同努力し、邁進している。



○代表者名：野本 明宏
○設立年月日：1995年11月1日

【 沿 革 】

・1995年 11月1日設立
・2015年 創業20周年を迎える

主な実績

・GOEMON
・岳
・母べえ
・北のカナリアたち
・おとうと
・東京家族
・GANTZ
・そして父になる
・カムイ外伝
・るろうに剣心

建物サービス業

株式会社 日活スタジオサービス

ニッカツスタジオサービス

TEL.042-499-1411 FAX.042-499-1416

住所▶染地2-8-12 日活調布撮影所内

E-mail▶kanri@nikkatsu-ss.co.jp

HP▶http://www.nikkatsu-ss.co.jp

撮影所・ビル・体育館等の施設保守管理および清掃、賃貸不動産管理、内装営繕

「快適な空間の創造・快適な空間の提供」 建物の創造（一般建築）から、建物の管理（ビル建物の空調・電気設備管理・清掃・賃貸管理等）まで、日活スタジオサービスは、建物の快適な空間造りを目指している。



○代表者名：永江 信昭　○期末時点の資本金：3千5百万円
○設立年月日：2009年11月9日　○従業員数：64名

【 沿 革 】

・2009年11月　日活調布撮影所の建物・設備メンテナンスを目的に設立
・2010年　7月　一般建物清掃業務開始
・2012年　6月　一般労働者派遣事業許可取得
・2013年　4月　一般建物内装営繕業務開始
・2016年　1月　宅地建物取引業者免許取得

特殊効果

有限会社 フィールドゴール

フィールドゴール

TEL.042-488-4704 FAX.042-488-4781

住所▶菊野台1-1-4

HP▶http://www.fgi.jp

CM、PV、MV、操演、特殊効果

アメガラスの輸入販売

○代表者名：宮下 勝則　○設立年月日：1993年1月

【 沿 革 】

1993年創業、現在二代目

主な実績

・TVCM
・ミュージックビデオ

メディアサービス

株式会社 汎企画

ハンキカク

TEL.042-488-4780 FAX.042-480-1776

住所▶調布ヶ丘2-15-1　E-mail▶han@takumishop.jp

HP▶http://hanproject.jp/

映像制作、各種デザイン、インターネットサービス

映像制作の技術を基本に、各種メディアサービスを展開。オリジナル企画においては自社でマーケティング・販売促進も行う。特に文教分野で強みがあり、各幼稚園や保育園において映像だけでなく、印刷物、WEBサービスも含めたサポートを行っている。独自ブランド「こどもメディア」を展開し、関東各地の園のお手伝いをしている。



○代表者名：香月 達行　○期末時点の資本金：1千万円
○設立年月日：1974年11月　○従業員数：5名

【 沿 革 】

・創業者「野澤正幸」が新宿区にて創業
・社名「アドフィルム」として登記、営業開始
・映像販売・広告代理業を中心に事業展開
・各種映画の番組販売や興和（株）などの広告代理業も行う
・1989年　株式会社汎企画へ社名変更
・2004年11月 代表者交代「香月達行」代表取締役へ就任
・事業所を調布市へ移転

主な実績

・調布市内外の幼稚園・保育園のビデオ制作
・大正琴入門DVD制作
・TV番組「MOTORGAMES」制作
・フラチェアエクササイズDVD制作
・雪の王祇祭黒川能DVD制作
・ボディメイクDVDピスミック制作
・TALOインターナショナルPV制作
・天然酵母のパンあこべるWEBデザイン
・映画「バサラ人間」制作

映像制作

有限会社 フラ（hula Inc.）

フラ

TEL・FAX.042-444-7393

住所▶布田1-47-4 調布ツインズ301

E-mail▶hula@titan.ocn.ne.jp　HP▶http://hula-films.com/

TV番組等のムービー撮影、雑誌・広告のスチール撮影、企画立案、構成、演出、制作、編集

バラエティー、ドキュメンタリー、CM等あらゆるジャンルの映像撮影、企画、演出、編集からアウトプットへ対応。次世代の放送フォーマットである「4K」「8K」映像撮影に技術提供し、番組制作も行う。また広告等のスチール撮影にも対応。豊富な経験・知識・ネットワークを生かし国内外を問わずワンストップでお客様のニーズにお応え。



○代表者名：仲島 秀男　○期末時点の資本金：3百万円
○設立年月日：2005年11月1日　○従業員数：5名

【 沿 革 】

・2005年　創業者であるカメラマン仲島秀男が10年間におよぶフリーランスカメラマンとしての実績を経て法人として起業

当初はカメラマン、音声、ビデオエンジニア、というスタッフ構成の撮影技術会社でしたが後にディレクター、プロデューサー、と制作スタッフも加わり、現在はプログラム（作品）制作を総合的にプロデュースできるトータルソリューションとして営業

主な実績

・BS12「ハワイに恋して」
・BS12「OZの女子旅 イイトコドリップ」
・J sports「世界、頂!ニッポン代表応援TV」
・NTV「箱根駅伝」
・2016「南米・ダカール ラリー」
・NHK「浅田真央・未来への光」

主要取引先

・株式会社ジェイ・スポーツ 30 %
・BS12 Twellv 30 %
・株式会社 エキスプレススポーツ 20 %
・NHK 日本放送協会 20 %

写真展示ギャラリー

富士フォトギャラリー調布

フジフォトギャラリーチョウフ

TEL.042-481-8049 FAX.042-481-8084

住所▶柴崎1-67-1

写真プリント注文受付、写真作品展示、写真教室

お客様からのプリントのご注文は、専門のフォトアドバイザーがお受けし、ご満足いただける作品プリントに仕上げる。都内でも有数の広さを誇るギャラリーでは、常時写真展をゆっくりとご鑑賞いただける。また写真展開催のご希望の方は会場をお貸ししているのでぜひお申込みを。写真が上手になりたい方は、写真教室にご参加してはいかが?8つの写真教室が開催されており、自分に合った教室をご用意しているので、自分のレベルに合わせ、お好きな写真教室を選べる。



○館長：佐伯 賢也　○設立年月日：2000年
○従業員数：5名

【 沿 革 】

・多くの写真愛好家に作品発表の場として、一般の方々には、フォトアートの素晴らしさに触れてもらう場所として設立
・写真教室も開催し、多くの生徒にとっても勉強、発表の場となっており、情報交換も盛んに行われている

その他の企業

有限会社 フィルムクラフト

業種:ポストプロダクション

TEL.03-3489-7454

住所▶国領町8-9-1

株式会社 Basik Pictures

業種:映画フィルム、映像素材配送

TEL.042-486-1980

住所▶飛田給1-49-11

株式会社 三沢プロダクション

業種:映画制作

TEL.042-498-1678

住所▶多摩川1-15-9

株式会社 リバティハウス

業種:撮影特殊効果

TEL.042-481-0150

住所▶下石原1-35-12

映像制作

株式会社 ブルードキュメンタリー

ブルードキュメンタリー

TEL.042-444-2356 FAX.042-444-2356

住所▶深大寺元町3-20-7 E-mail▶info@bluedocumentary.com

HP▶http://www.bluedocumentary.com

ドキュメンタリー映像制作、CF制作、TV番組制作

ドキュメンタリー映像制作を中心に、記録映画、コマーシャル等を制作。自社レーベルのDVDを販売。

○代表者名：山中 有　○設立年月日：2010年　○従業員数：2名

【 沿 革 】

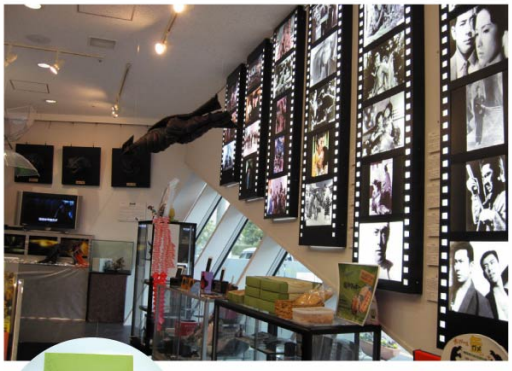
・2010年創業

主な実績

・NHK Eテレ「デザインあ」コーナー演出
・NHK大河ドラマ「八重の桜」オープニングクリエーターズパート制作
・SIGMA Aizu, Japan プロモーション映像
・ドキュメンタリー映像「テマヒマ」
・ドキュメンタリー映像「白姓」

SHOP MAJIN

角川大映スタジオに併設されているアンテナショップ





撮影所みやげとして
「魔神クッキー」はいかが?
(2枚入360円、10枚入1,955円)



［ 角川大映スタジオ入口 ］
大魔神像と武神像がお出迎え
クリスマスにはサンタのコスプレを
するらしい!? ※撮影所内見学不可

〒 多摩川6-1-1 ☎042-482-1151
◷ 10:00～17:00　土日祝休

芸能美術文庫PAL

**映画、演劇、テレビ等で使われた小道具を常設展示!
小道具を扱う高津グループが運営しています。**



〒 国領町1-30-3(プレステージB1)
☎ 042-487-5747
◷ 10:00～17:00(入館は16:30まで)
土日祝・年末年始休
※展示替え等の理由による臨時休館あり
●一般(大学生含)500円、
児童生徒(小中高校生)300円、
20名以上の一般団体400円、
20名以上の児童生徒団体200円

日活スターの手型

**日活スター60名と監督4名
の手型が勢ぞろい。
往年の映画俳優とともに、
懐かしの映画作品の
ポスターも!**

〒 京王線飛田給駅構内



映画俳優の碑と調布・映画発祥の碑

**かつては撮影所の一部だった
場所に、建てられています。**

〒 多摩川5丁目児童遊園(多摩川5-1-1)



［ 映画俳優の碑 ］
森繁久弥を
はじめとした
多くの俳優の名が
刻まれている



［ 調布・映画発祥の碑 ］
映画産業の
歴史を記念

「映画作りは楽しい。だから、一度はまると抜け出せないんだよ。」



映画人

映画倫理委員会　審査員
（元大映株式会社　取締役）

平山 達郎さん



プロフィール

元大映株式会社取締役でいま、映倫審査員を務める。

【略 歴】
1970年 大映株式会社東京撮影所入社〈技術部録音課〉
1987年 東京ケーブルネットワーク出向（プロデューサー）
1994年 大映スタジオ営業部部長
1996年 東京都公立高等学校PTA連合会副会長
1997年 全国高等学校PTA連合会理事
1997年 大映株式会社 取締役
2002年 角川大映映画（現KADOKAWA）顧問
2003年 映画倫理委員会審査員 現在に至る

「映画のまち調布」が華やかだった時代の経験者であり、今も現役で映画界で活躍されている映画人・平山達郎さん。古き良き「カツドウヤ」の世代として"永田大映※"に入社した最後の社員でもある平山さんに、当時の様子を伺いました。

私が映画の世界に飛び込んだのは、1970年、日本の映画産業が斜陽に差し掛かりながらも、起死回生を狙っていた頃でした。大映と日活の映画配給網を統合して、両社どちらの作品も配給する会社『ダイニチ映配』が設立されたのが1970年。そこで急遽制作スタッフを倍増しなければということになり、大映社員の募集があったんです。私はその年の9月に契約社員になりました。3ヶ月後には試用期間が終わり正社員となったのですが、そうしたらいきなり現場に出させられたんですよ。

所属は録音部。なのにいきなりの「カチンコ」デビュー。

入社したら、すぐに現場に出されて。それが臼坂礼次郎監督・関根恵子主演の『おさな妻』でした。しかもここでなんと、いきなり『カチンコ』をやらされた。撮影の開始や終了の合図を鳴らすんですが、本来は助監督がやるものなんです。カチンコはフイルムと音を合わせるためのものでもあるので、「音が出るものは録音だ」っていうことで（笑）、助監督が忙しいからなのか、録音部がやっていました。これははにはびっくりしましたね、「なんでカチンコ？」って。大映独特のやり方だったかもしれません。カチンコは結局1年半から2年くらいやっていました。だからカチンコは上手くなりましたよ。

『おさな妻』後も『遊び』『華麗なる一族』『金環蝕』など次々と作品に携わりました。録音部がダビングをするわけなんですが、当時、録音のテープはフィルムと同じ幅、35mm。それをセリフとサブと効果音1・2・3と5本ぐらいを同時に回すんです。更に音楽は6mmテープ。それらをミキシングしてやっていましたので大変でした。今なら全部デジタルでできるんですけれど。

ダビングは三日三晩やっているようなもんで、ほとんど日の目を見ない。でも、本数を見るのは全然苦ではなかったです。映像作りは楽しかった。やはり作品が完成した時の「出来た！」という達成感、それがあるので面白い。だから映画の現場をやった人はなかなかやめられない。

当時の撮影所や調布市内の様子について

当時の調布市内は、大映・日活など映画関連の人たちが溢れていました。京王多摩川駅で電車が折り返していたから、大映の社員は駅から歩いて通っていた。日活の撮影所は田んぼの中にあったので、駅から自社バスを出していましたね。

市内でのロケは多摩川が多かったです。日活のそばに三本松があって、やたら時代劇にでてくる。あ、あそこだな、ってすぐにわかっちゃう（笑）。野川は成人映画にやたら出てくる。

当時はまた、撮影所の中で大体のことが賄えました。食堂はもちろん、床屋もあった。撮影所の中で大体済んじゃったね。小道具の大半はすべて撮影所にあったし、セットで家一軒建っちゃうんだから（笑）、撮影所の

中に全部があった。だから身の回りのことで苦労することは少なかったです。

そう言えば、京王多摩川に『チェリー』という洋食店があって、有名な役者がこぞってそこに食べに行っていましたね。ハンバーグとかスパゲティが俳優さんに大人気だったみたい。大映撮影所から市役所までの通りは『大映通り』と呼ばれていました。道沿いに『大映通り』と書かれた看板がずらーっと並んでいたんですよ。

「現場」を離れても

テレビ業界の興隆に押される形となり、なかなか撮影所が独自で映画を撮れなくなってからは、他社へアフレコ応援の仕事に行ったりしました。スタジオとしていろんなプロダクションにCMの営業にも行っていました。

そんな中でも当時、私は本社の中で多分一番映画を観ていたと思います。普通のサラリーマンは観ても休みの日にたまに観るくらいでしょ？

私は土曜日はだいたい毎週観て、月8本はノルマにしようとしていた。子どもが小学校の時は強制的に連れて行って、徹底的に映画を観せていましたね（笑）。現在も観る姿勢はほとんど変わらない。仕事柄もありますが一昨年は320本。去年は287本。今映画を作らせたら非常に良いものを作ると思いますよ（笑）。

「映画のまち調布」としての今後に期待すること

今の撮影所はほとんどがCM・テレビスタジオとして使われている。やっぱり、撮影所が映画をつくることだよね、映画の試写も撮影所でする。そういう風にできたらいいですね。

映画人は調布をはじめ、近辺に住んでいる人が多いんですよ。日活・大映・東宝があるから。だから、映画関係者をもっと巻き込んで、産業を巻き込んで、講演会をやるとか、地元の映画をつくるとか協力してやれるといいですね。

※永田大映…1971年12月28日に上場廃止となるまでの大映株式会社の通称。当時のカリスマ的社長・永田雅一氏の名前よりそう呼ばれる。

平山達郎さん　映画作品履歴

◆「おさな妻」
監督:臼坂礼次郎、主演:関根 恵子
◆「遊び」監督:増村保造、主演:関根 恵子
◆「華麗なる一族」
監督:山本 薩夫、主演:山村 聰
◆「金環蝕」
監督:山本 薩夫、主演:仲代 達也
◆「君よ憤怒の河を渉れ」
監督:山本 薩夫、主演:仲代 達也
◆「Sall we ダンス?」
監督:周防 正行、主演:役所 広司
◆「がんばっていきまっしょい」
監督:周防 正行、主演:役所 広司
◆「平成ガメラシリーズ」

他にTV（大映テレビ室、三船プロ、CAL、近代映協等）・CM・PMV等の制作



様々なフォーマットの映画フィルム。



調布市中央図書館内 映画資料室にて

調布には撮影所と、活動屋が住む「村」があった…その記録を残したい



「かつてこのまちには活動屋たちが住んでいた村があった…。」2015年10月に出版された『旧日活大映村』は、当時の様子を知る貴重な資料としても高い評判を得ている『映画のまち調布』の"記録書"です。本誌を発行した『旧日活・大映村の会』の事務局長・宮嶋眞雄さんに発刊までの経緯やご苦労、また大映村の思い出について伺いました。

昔、京王多摩川駅のすぐそばに大映の撮影所があって、100mくらい離れた丘に大映の社宅があったんです。その社宅は周りの人や社員たちからも"大映村"と呼ばれていました。あれから随分時間が経ち、大映村に住んでいた当時の子供達が『みんなで会おうよ』という話になって。平成21年に「旧日活・大映村の会」を作り、懇親会をしたんです。懐かしい顔がたくさん揃いました。

それから2年経ち、村があったところに行ってみようよ、ということになりました。京王多摩川駅に降り立ち、昔の商店街の辺りを歩きました。昔はウォーターパークの弁慶橋を超え、府中用水の小さな川を超えると、右側に小さな釣具店だるま屋さんがあって、そこから先は両側にばーっと店が並んでいたんです。そういった昔の面影は何もなく、今は左側にまばらに店があるだけで。侘びしさを感じましたね。

発起人を中心として14名で行ったのですが、皆大映村に住んでいたのは今から60年以上前で小学生や中学生の頃。大映村が無くなってから初めて行った人もいたんです。

『本当に変わっちゃったね』と言いながら歩きました。駅の東側にあった大映撮影所はマンションに。唯一の面影は、一部が公園になってそこに『調布映画発祥の碑』があるくらい。道行く人に「大映村があったのを知っています?」と聞いても「何それ?」。

私たちはみな大映村に住んでいたわけですから、自分たちが住んでいた『村』が無くなったという寂しさがある。しかも、その存在を近くの住人ですらも知らない、更なる寂しさ…。このままでは、自分たちがいた村が忘れ去られてしまう。何かに残さないと、という思いがこの本を書く、そもそものきっかけでした。

記憶を辿るために、昔話をしながら編集会議。

常時集まるメンバーは当初10人。かっこいいことを書こうと思わず、自分が自分の孫に伝えたい、残したいと思うことを、メモや見出しでいいから書いていこう、というスタイルで編集作業はスタートしました。

重複している見出しは整理して、一つの流れとなるように組み、目次ができました。その順番に、ひとつずつみんなから話を聞いていきました。

「今日は撮影所について話をしましょう」。みんなで雑談をしているうちに、ある程度芽が出てくる。それを掘り下げていく。そうすると絡まっていた糸がだんだん解れてくるような感じで、「君の話で、俺が気になっていたことがやっとわかったよ!」と、点がつながってくるんです。それらの流れをテープに録ります。それを聞き直しその骨子を選んで書いてゆくのです。そんな作業を繰り返し繰り返し、やっと本書が完成しました。スタートから完成までに、6年ほどの年月が過ぎました。



映画人

調布市文化協会 評議員
旧日活・大映村の会　事務局長

宮嶋 眞雄さん

プロフィール

1943年3月生。子ども時代、親が大映に勤めていたので大映村に住んでいた。

【略 歴】

1965年　日本大学経済学部卒
大学4年時、新東宝のあとの国際放映で専属契約を結び、テレビ・映画の助監督となる。

1972年　東宝系（株）エコーの社員助監督となる。
主に従事した監督
・久松静児　・杉江敏男　・谷口千吉　・児玉進　・福田純　・根本順善　など

30歳～定年近くまで、外資系企業に勤務する。

最近では舞台、記録映画などの演出補佐や、舞台用の台本等も手掛けている。

当時の撮影所や調布市内の様子について

当時の大映村や映画産業、暮らしの様子については、本書に詳しく書いてありますが、大映村には多い時で110世帯程が暮らしていました。おじいちゃん・おばあちゃんも一緒。大映村は完全に周りから独立した、まさしく"ひとつの村"でした。

社宅と言っても周りを金網などで囲まれていたわけではなく、入ろうと思えば誰でも気ままに入ることができる。でもまず入って来ようという人はいなかったですね。やはり、住人の全てが映画関係者ですから、独特の雰囲気があったんでしょうね。中には三條美紀さんなど有名な俳優さんも住んでいました。当時は俳優さんも社員でしたから。

村の崖の下に撮影所があったので、友達から「今日は試写会があるよ」なんて聞くと、親に内緒で友達と見に行きました。入口の守衛所の窓が高いので、バレないように屈んで入るんです。でも守衛所の人は僕らのことがわかっていたはずです（笑）。守衛所の人も大映村の住人でしたから。

しょっちゅうじゃないけれど、撮影所の床屋にも行きましたし、たまにはお風呂にも入って帰りました。大人が10人くらい入れる大きさのお風呂でした。村ではみんながお互いに分かっていますから、村全体が一つの家族みたいなものでした。だから、村の解散はすごく寂しかったですね。

『映画のまち調布』であることを、もっともっと伝えていきたい。

調布に住む人たちに映画を通して自分達のまちを少しでも分かって欲しくてこの本を書きました。調布のまちは"映画のまち"そのもの。"かつて大映村ここにありき"○年封切りの映画のロケ地"みたいな看板を建てて、それをつなぎ合わせて、ガイドコースを作ったらどうかな。外から来た人が、そのガイドに導かれて散歩をして…。そういうふうにして、みんなが映画を感じて歩けるようなまちになったら良いですね。

銀幕の昭和・文化発祥の里
旧日活　大映村



旧日活・大映村の会／編纂
定価：2000円（消費税別）

真光書店北口本店（調布駅）、堀之内店、SHOP MAJIN（P34参照）、烏山書房（千歳烏山駅）にて販売中。
（2016年3月31日現在）



昔の京王多摩川駅前商店街の略図。撮影所や大映村の配置図、部屋の間取りなど、この本以外では知ることができない、貴重な図も多く掲載されています。



多摩川5丁目児童遊園（調布映画発祥の碑）にて

調布フィルムコミッション

撮影をするなら「映画のまち調布」

調布フィルムコミッションでは、映画・TV・CMなどの映像制作のための情報提供やサービスなど様々な支援をしています。豊かな自然が多く、多彩なロケーションがそろっている調布市。都心からの交通利便性も高く、撮影には最適です。

映画・映像制作関係の方へ

撮影のお問合せ・協力依頼を随時受付けています。

撮影申請手順

1 お問い合わせ

電話やメールで相談
※企画書や台本の写し等、撮影の概要がわかる資料を用意

ＴＥＬ：042-481-7180
ＦＡＸ：042-481-7391
メール：kankou@w2.city.chofu.tokyo.jp

2 書類申請

撮影日の一週間前までに申請書を提出

3 審　査

4 許　可

撮影の許可がおり次第ご連絡

5 撮　影

人気のロケ地をご紹介

調布でご案内している口ケ地の中で、
人気のロケ地をご紹介！
※撮影を行う際は、事前に申請が必要です。

ロケ地カタログ

神社・寺

深大寺 関東屈指の古刹
周辺にはお蕎麦屋さんが軒を連ねます









公園

深大寺自然広場内
かに山キャンプ場
木々が茂る自然豊かな広場

多摩川沿い

多摩川土手サイクリングロード・河川敷
季節によって表情を変える雄大な多摩川

ロケ地募集

撮影ができる場所を募集しています。
ご自宅、店舗、オフィス、会議室などあらゆる場所が口ケ地の候補!!



募集条件：市内の施設、場所
※所有者・管理者が撮影協力を承諾しているものに限る

撮影受入のメリット

【企業PR】映画やドラマに施設名・企業名が登場することにより、宣伝効果が期待
【収益事業】施設使用料、立会い費用等を設定することで、ロケ受入が収益に
【にぎわい創出】まちのにぎわい創出や地域の活性化に貢献
【映像文化の発展】作品づくりを支援することで、映像文化や映像産業の振興へ

★登録方法は、映画のまち調布ホームページをご覧ください。



絶対食べたい！調布のロケ弁

安田商店

電話:042-482-5201
携帯:090-1400-3678
営業時間:10:00～17:00

老舗キムチ屋さんの真心こもったお弁当です

他にはない美味しい韓国風弁当です。お店でひとつひとつ手作りしている自慢の味です。スタミナたっぷりにも、ヘルシーにも、メニューの中身、料金、個数などご相談ください。



焼肉弁当　1,500円



和牛焼肉ビビンバ　600円

価格帯	800～2,000円
配達金額・個数	金額：8,000円～ 個数：最大100個
注文締切	30個まで：3日前 30個以上：1週間前
配達時間	10:00～17:00
住所	〒182-0025 多摩川2-12-1
URL	http://www.yasuda-kimuchi.net/
E-mail	info@yasuda-kimuchi.net

キッチンファミーユ

電話:042-426-7713
営業時間:11:00～17:00
（平日のみ）

ほっとする“おふくろの味”お弁当

市内の食材を中心に、すべて手作りのこだわりお弁当です。日替わりメニューですので、長期の撮影の方にもおすすめです。（写真のお弁当は日替わりです。メニューは直接お店にご確認ください。）



日替わりお魚弁当　700円
鮭の西京漬け。たくさんのお惣菜を一度に楽しめます。



から揚げ弁当　500円

価格帯	500円～
配達金額・個数	金額：10,000円～ 個数：50個くらいまで
注文締切	10個以上のご注文は 2日前まで
配達時間	11:00～15:00 （11:30～13:00を除く） 時間外については応相談
住所	〒182-0017 深大寺元町1-1-4

omusubi teshima

電話:03-3307-5649
営業時間:月～土7:30～18:30
日・祝9:00～16:00

ごはんがおいしい！お米やのおむすび･お弁当！

お米は新潟県胎内市の減農薬コシヒカリを使用。
出来立てはもちろん、冷めても美味しいご飯です！
お弁当の種類も多数あり、おはぎや桜餅等の和菓子もございます。



おむすび2個セット450円、
3個セット610円



ミックス弁当670円、
豆腐ハンバーグ弁当630円

価格帯	450円～
配達金額・個数	金額：1,000円～ 個数：～300個
注文締切	前日。数が多い場合、 1週間前までに連絡。
配達時間	月～金10:00～17:00 土・日10:00～15:00
住所	〒182-0002 仙川町1-12-12
URL	http://www.omusubi-teshima.com/

スリーコンカフェつつじヶ丘店

電話:042-490-2838
営業時間:8:00～20:00

HOMEMADE Sandwich and sweets!

女性向け、朝食、軽食、夜食、ランチBOXは主に出演者向けが多いです。
フルーツ盛り合わせはモデル様、タレント様にぴったりです。



フルーツ盛り合わせ（47cm
プレート7～9人向）5,400円



朝食用ランチボックス
（ドリンク付）550円

価格帯	430～1,200円
配達金額・個数	金額：5,000円～ 個数：10～600個
注文締切	2日前
配達時間	6:00～19:00
住所	〒182-0006 西つつじヶ丘 3-30-16-101
URL	http://www.threekoncafe.jp/
E-mail	thanks@threekoncafe.jp



市民エキストラ登録者募集
映画やドラマに出演してみませんか



映画のまち調布

酒肴　膳菜家

電話:042-446-6566
営業時間:8:00～17:00
（平日のみ）

国産十六穀米を使った健康弁当（白米にも変更可）

安心・安全・健康で手作り。40品目以上7種類のおかずが入った毎日飽きない日替わり弁当を、お求めやすい価格で提供します。



日替わりデラックス弁当　500円
種類も量も「満足したい」という方に。



日替わりヘルシー弁当　400円
少しずつ色々なものを食べたい方に。

価格帯	400～1,000円
配達金額・個数	金額：400円～ 個数：1～100個
注文締切	20個まで：当日可、10:00まで 20個以上：前日まで
配達時間	11:00～17:00
住所	〒182-0035 上石原2-24-18
URL	http://chofu.com/s_zensaiya/

株式会社　味彩

電話:042-389-7300
営業時間:10:00～17:00

一日一万食の実績とおいしさ

配達エリア・東京都～神奈川県～埼玉県～山梨県。
昭和41年『柳寿司』の創業よりおかげ様で50周年、個人宅、学校、団体、企業（テレビ局・ロケ弁）、駅、空港などへ幅広いお客様へご利用いただいてます。



唐揚中華幕ノ内　780円



和会席二段弁当　980円

価格帯	780～10,800円
配達金額・個数	金額：15,000円～ 個数：10～3000個
注文締切	お届け日の前日14:00まで
配達時間	9:00～19:00 その他応相談
住所	〒182-0024 布田2-38-33 （多摩工場・立川工場）
URL	http://www.ajisai.co.jp/

ロケ弁登録事業者募集

市内でロケ撮影が行われる際に、ロケ弁の配達ができる事業者を募集しています。有名芸能人が、ロケ弁を召し上がるかもしれません!?

募集条件：市内に事業所があり、撮影現場まで配達可能な事業者

注意事項：この募集は登録制です。毎回のロケ撮影で、注文を約束するものではありません。

★登録方法は、映画のまち調布ホームページをご覧ください

みさと屋野菜食堂

電話:042-487-1714
営業時間:ランチ11:45～14:30
ディナー17:00～20:00

調布で創業29年の自然食レストランです。

有機野菜を使った無添加の野菜中心の手作り弁当。
ごはんは有機認証米の胚芽米と玄米です。
箸は国産で森林認証されたものです（有料5円）。



日替わり弁当　860円



日替わり弁当　770円

価格帯	670～860円
配達金額・個数	金額：2,010円～ 個数：3～50個
注文締切	10個未満は前日 10個以上は1週間前くらい
配達時間	ランチ弁当11:15～12:00まで他の時間帯は相談
住所	〒182-0024 布田2-2-6-103
E-mail	misatoya@jca.apc.org

★登録方法は、映画のまち調布ホームページをご覧ください

撮影にご協力いただけるボランティアエキストラを募集しています。
市民の力で撮影を盛り上げ、調布のPRをしましょう

〈募集条件〉　市内在住・在勤・在学の方 ※年齢・性別は問いません　※メールで連絡がとれる方
〈出演依頼〉　制作会社からの出演要件をもとに、メールで依頼
〈注意事項〉　原則、出演料・謝礼等はありません　※交通費・お弁当は出る場合があります

映画のまち調布 ガイドブック
Chofu City of movie-Guidebook

2016年4月発行　登録番号（刊行物番号2016-31）　発行・編集／調布市産業振興課　協力／調布市観光協会　〒182-8511 東京都調布市小島町2-35-1　電話 042-481-7180　ホームページ http://www.csa.gr.jp/film/



Chofu , the City of movies-Guidebook

▸▸ April 1st, 2016　Produced by Chofu City